ライオン誌8月号 2006年（平成18年）7月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第49巻第2号

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

August 2006

8

THEME I ボストン国際大会

THEME II 2006-07年度国際プログラム

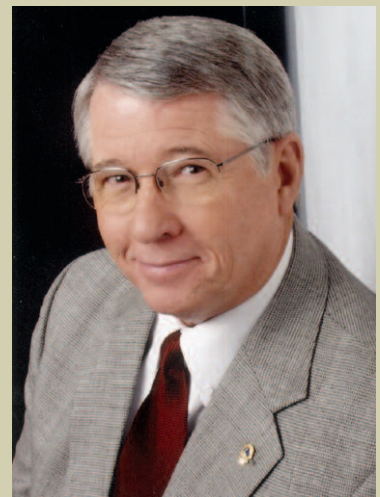
第49巻第2号

We Serve

CONTENTS

ESIDENT'S MESSAGE

クラブの刷新：奉仕の拡大に向けて

Club Renewal: Expanding Our Mission of Service

国際会長メッセージ

2006-07年度国際会長
ジミー・M・ロス
Jimmy M. Ross

ライオンズクラブはそれぞれの地域社会に適した方法を模索しながら、常に成長し続けなければなりません。そのためには、定期的にクラブを刷新し、再生を図ることが不可欠です。その結果、クラブは活力を取り戻し、地域の現状に即した奉仕活動を実施することが出来るでしょう。それは同時に、個々の会員のニーズを満たすことにもつながります。更に、ボランティア奉仕に時間と能力を捧げたいと希望する人々に、その機会を提供することにもなるはずです。

２００６‐07年度はクラブの刷新の年、つまり新たな発想と方法によって、自らの「改革」を目指す1年とすべきです。ライオンズが今後も発展を続け、地域第一の奉仕クラブ組織としてのイメージを強化するには、必要に応じて旧来の認識や姿勢を改めなければなりません。同時に、有効な地域社会奉仕を実施出来るよう、新たな発想や方法を考える必要があるでしょう。すべてのクラブは年度最初の会合で、活動の徹底的な検証を行うべきです。奉仕事業、会員増強、地域の他の指導者や組織との協力、会議の実施方法など、あらゆる事項がクラブの強化と将来の発展につながるはずです。現在と将来の会員のニーズに最も効果的に応えるためには、3段階の適切な手順を踏むべきです。

まず、確実に成果を収め、会員の意欲をかき立てるクラブの活動を明確化します。こうした活動は今後も継続し、可能であれば更に拡大するべきです。

明らかに効果を失っている事業には、再評価と改善が必要です。皆さんのクラブが実施するあらゆる活動は有効であると同時に、地域社会と会員の最大のニーズを満たすものであるべきです。

長年クラブの行事日程に含まれていた事業を捨て去ることは、確かに気の進まないものです。しかし真剣に検討した結果、それがもはや地域社会のニーズを満たさず、効果を生まないと判明した場合にはどうでしょう。私たちは直ちにそれを捨て去り、新たなプログラムと置き換えるべきです。いわゆる「パラダイム・シフト」を実現するためには、このような手順が欠かせません。

　私たちは、効果を失った時代遅れの活動や慣行を維持することは出来ません。革新的な奉仕事業、効果的な会員増強戦略、成長に向けた最善の方法を継続的に立案・実施することは、ライオンズとして、また地域社会の指導者としての義務なのです。私たちの活動は、現在と将来の会員が意義を認め、真剣に受け止めるものでなければなりません。それは会員を増強し、クラブを強化する唯一の方法となるでしょう。しかしそのためには、クラブが何を目指し、会員がどこへ向かうのかを徹底的に自己評価しなければなりません。

「今までずっとこのやり方を通してきたのだから！」という考え方とは、永久に別れを告げようではありませんか。このような認識でクラブを運営してはならず、効力を失った概念は新しい発想と置き換える必要があります。そのためには、クラブの会員が率直で建設的な討議に参加することが不可欠です。会員が現状を正面から評価し、今後の行動方針を決定した時、初めてクラブの刷新と発展が実現することになるでしょう。各クラブは地域社会に対する奉仕活動を見直し、会員増強に向けて独自の目標を打ち立て、優先順位を設定するべきです。それはクラブの段階においてのみ可能な手続であり、上から決定を押し付けることは出来ません。あらゆるクラブがそれぞれの地域社会と会員の最大のニーズを分析し、これに対応する方法を見極めなければならないのです。

　そのための秘訣は、真剣な自己評価を行うことです。3段階の手順を用いて刷新を実現した時、クラブには明るい将来が約束されることになるでしょう。

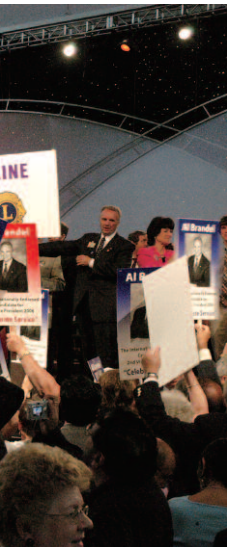
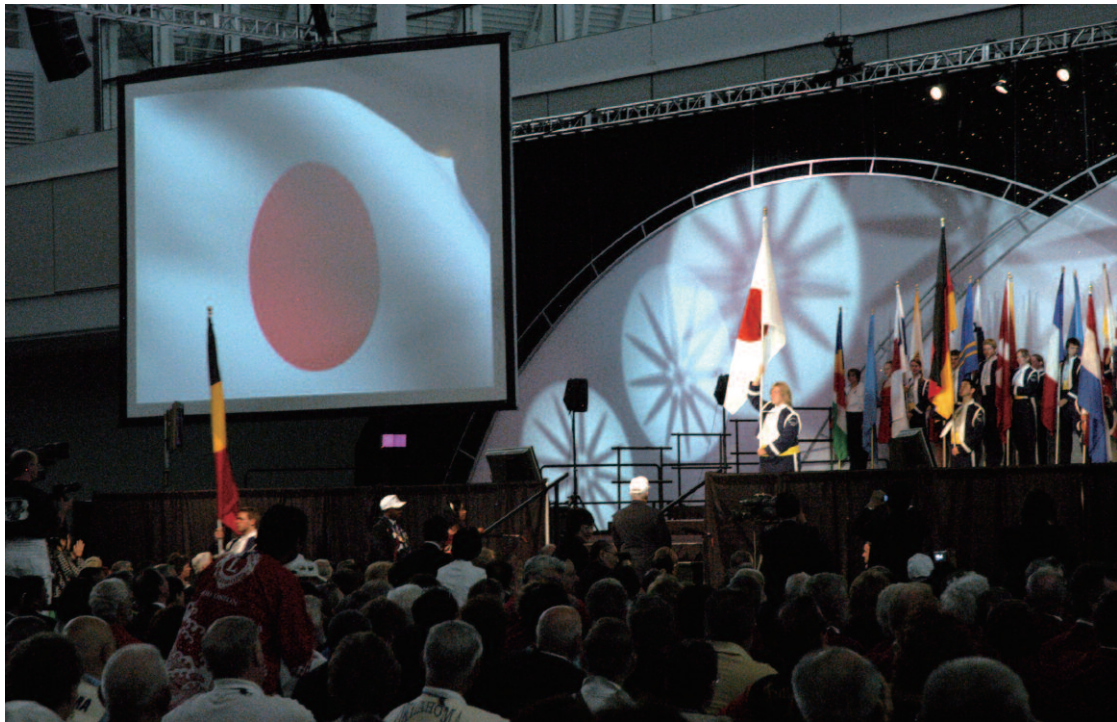
INTERNATIONAL PR

第89回ボストン国際大会の最終日、7月4日の閉会式で就任演説を行うジミー・ロス新国際会長。大会参加者を前に、2006-07年度国際会長プログラム「ウィ・サーブ」の概要について説明した

第89回ライオンズクラブ国際大会

世界のライオンズ、歴史の街ボストンに集う

2006年6月30日～7月4日

ierceton Lions
CAMPAIGN SIGHTFIRST II

アメリカ建国にゆかりの深いボストンで、第89回国際大会は独立記念日までの5日間にわたって開催され、世界100カ国以上から1万4千人余りのライオンズが集った。日本からは約千人が参加した。

大会幕開けを飾るインターナショナル・パレードは7月1日午前9時半にスタート。出発点バックベイ地区は19世紀半ばに埋め立てられた新しい地区で、パレード・コースのボイルストン通りには100余年の歴史を持つトリニティー教会と近代的な高層ビルが隣り合い、オフィスビルや商店が連なる。広大な緑のオアシス、ボストン・コモンまで約1・1キロのルートでは4車線の通りを悠々と使い、堂々としたパレードが繰り広げられた。67番目に登場の日本は男性が法被（はっぴ）、女性が浴衣に日傘のユニフォーム。手にしたミニ鯉のぼりは沿道の観衆に人気で、手渡された子どもたちは笑顔いっぱいだ。

今大会は、昨年8月にハリケーン・カトリーナで被災したニューオーリンズから開催地が急きょ変更された。通常は決定から5年の歳月を

❶開会式／ライオンでもあるトーマス・M・メニーノ市長の歓迎あいさつ
❷開会式／クジアクLCIF理事長にジャワ島地震救援金4170万円の目録を手渡す髙田一男ガバナー協議会議長連絡会議世話人
❸第2本会議／グリムソン大統領は冷戦後の国際情勢について述べると共に、ライオンズの貢献、特にスペシャルオリンピックス支援を高く評価した
❹第2本会議／CSFⅡ表彰
❺第2本会議／かつてヘレン・ケラーも通ったパーキンス盲学校のスポークスパーソンで、目と耳が不自由なジェイミー・ラード氏による手話スピーチ
❻❼第2本会議／第2副会長候補者の支持者によるデモンストレーション

かけて開催へこぎ着けるところ、わずか1年足らずで準備を整えた。ボストンでの開催を可能にしたのは、オープン間もないボストン・コンベンション&エキシビション・センター（BCEC）の存在が大きいだろう。1万人以上が会する開会式を含む3回の本会議、代議員資格審査場や各種ブースの並ぶ展示場、セミナー会場や晩餐会まで、パレードを除く主要な公式プログラムはすべてこのBCECで開かれ、参加者には便利な会場であった。ただ、例年はスタジアム型の会場を使用する本会議に平坦な展示会場が使われたので、前方と中程に大型スクリーンが2枚ずつ計4面設置されるなど、少々趣が異なる。いつもはスタジアムの観客席が埋まると共に会場が熱気に包まれていくのだが、今回はやや迫力に欠けた感は否めない。

2日の開会式では2005年度を締めくくり、アショク・メータ国際会長とクレメント・クジアクLCIF理事長からそれぞれ年次報告が行われた。いずれも、ハリケーン・カトリーナ、パキスタン地震などの災

害に寄せられた支援と地元ライオンズの献身的活動に対する称賛、そして視力ファースト・プログラムの成果と視力ファースト・キャンペーンⅡ（CSFⅡ）の意義が強調された。

前回香港大会でのキックオフから1年目の区切りを迎えたCSFⅡについては、第2本会議でテーサップ・リー国際委員長を進行役に、視力ファースト・プログラムで協働するジミー・カーター元アメリカ大統領のビデオ・メッセージなどが披露され、続いて貢献の著しいモデルクラブとリード・ギフト（献金10万ドル）の表彰が行われた。大会展示場には豊富な資料を備えたCSFⅡのブースが設けられ、セミナー会場も立ち見の出るほどの盛況で、関心の高さが感じられた。

もう一つ、今大会で高い関心が寄せられたのが国際第2副会長の選挙である。5月の段階でアメリカから立候補者4人が立ち、大会前までにうち2人が立候補を取り下げて、ライオン・アルバート・ブランデル（ニューヨーク州）とライオン・デニス・ティシュナー（オレゴン州）の一騎打ちとなった。

第２本会議では、アイスランドのオラフル・ラグナル・グリムソン大統領による基調講演と前述のＣＳＦⅡのデモンストレーションに続き、国際理事候補者16人、国際第２副会長候補者２人による立会演説会が行われた。国際理事は各会則地域とも定数立候補で、日本から立候補した谷野徹地区ガバナー（山口県下関）は名越勉元国際理事（鳥取県倉吉）の応援を受けてスピーチした。第２副会長の立候補者２人は熱を込めた演説を行い、支援者によるデモンス

❶インターナショナル・ショー／アカデミー賞女優アン・マーグレットによるステージ　❷アカデミー賞晩餐会／334・E地区がベスト地区賞を受賞。野中杏一郎前地区ガバナーの喜びのスピーチ　❸展示場／ＬＣＩＦブースではレセプションを開催。ブースでＭＪＦ献金を行った会員に理事長から直接ピンが授与される　❹❺❻❼❽展示場／ライオンズクエストの説明をするＬＣＩＦスタッフ(❹)。ＣＳＦⅡブースのボードには支援表明のサインがびっしり(❻)。中古眼鏡収集のブース(❼)。環境写真コンテスト(❺)と平和ポスター優秀作(❽)の展示　❾❿⓫⓬⓭セミナー／ＣＳＦⅡ(❾)では点字原稿を読む視覚障害者の会員による発表に満員の会場全体が真剣に耳を傾けた。女性会員シンポジウム(❿)も満席。クラブ会員招請(⓫)では、後藤隆一元地区ガバナー（千葉県・柏中央ライオンズクラブ）がスピーカーを務めた。リーダーシップ(⓬⓭)は、参加者がテーブルを回ってディスカッションを繰り返すユニークな手法で活気いっぱい

トレーションが行われたが、違ったのは壇上の国際役員の反応だ。ブランデル候補にはほぼ全員がステージ前面で拍手を送ったが、ティシュナー候補の時には後方の席に止まり、理事会のブランデル支持が明確に示された。同日の日本ライオンズ代議員会・夕食会でも、メータ国際会長ら執行部とブランデル候補が揃って現れ、日本の支持を求めた。選挙はアメリカ、カナダの票が割れて接戦になるとの下馬評で、日本の票が鍵を握ると考えられたようだ。

日本国内では今回、「日本の声を世界に届けよう」という山田實紘国際理事の呼び掛けで、代議員派遣の重要性が意識されることになった。同じアメリカで開催された2004年のデトロイト大会の305人、昨年の香港でも400人だった代議員が427人まで増え、地元アメリカに次ぐ第2位だった。日本は代議員権を行使しないという悪評を、ひとまずは払拭出来たようだ。注目の代議員投票は最終日4日朝に行われ、国際会則及び付則改正案6項はすべて賛成多数で可決。第2副会長は日

❶❷❸代議員資格審査／日本の代議員登録を増やそうと案内ボランティアも。今大会で本人確認が電子サインに変更されコンピューター照合に
❹❺日本ライオンズ代議員会・夕食会／執行役員と日本の国際理事会メンバーがブランデル候補支持をアピール。日本の谷野国際理事候補も力強く抱負を述べた
❻❼❽❾投票／代議員に最後のお願いをする第2副会長候補と支持者たち(❼)。日本の代議員も続々投票へ(❽❾)
❿新旧国際会長がカウボーイハット姿で臨んだ就任式。宣誓の後、会長の槌とリングを引き継いだ
⓫閉会式／ロス新会長就任を祝うテキサスの会員たち
⓬⓭閉会式／一斉にエレクトのリボンを外し、晴れてガバナー就任

本が支持を固めていたブランデル候補が7割近い票を得て当選した。

国際大会のハイライトは何といっても新国際会長の就任式とスピーチである。テキサス出身でカウボーイ魂を燃やすジミー・ロス新国際会長は、スーツ姿でもカウボーイハットにブーツでキメている。就任スピーチではマイクを持ってステージ中央に立ち、パラダイム・シフト――変化の必要性を聴衆に訴えかけた。

大会終了後、初参加の会員の弁。「開会式と閉会式に感動した。特に新国際会長のスピーチは言葉が十分理解出来なくても、気持ちが高揚した。必ず出席すべき」（この方はイヤフォンを使わなかったそうだが、会場入り口で借りれば迫力のスピーチを同時通訳で聞くことが出来る）。これまで日本の参加者は観光重視の傾向があったが、今回は開会式、閉会式とも最後まで会場に止まる姿が増えたように見受けられた。代議員数増加と併せ、国際大会参加の姿勢が本来のものに変化しつつあるのかもしれない。来年、ライオニズム発祥の地シカゴでの開催が楽しみだ。

＊ボストン国際大会での代議員投票結果、各種表彰、コンテスト結果は32ページに掲載。

地区ガバナー・エレクト・セミナー

2006年6月26～29日

自ら考え、行動を。重責担う地区ガバナー就任へのラスト・ステップ

■取材／編集部

国際大会に先立って開かれた地区ガバナー・エレクト（ＤＧＥ）・セミナーの開会式で、会長就任を目前に控えたジミー・ロス第１副会長は「チャレンジ」を訴え、新年度への奮起を促した。ロス第１副会長はＤＧＥに具体的な指示を与えるのではなく、自ら考え、行動することを求めた。地域のニーズはそれぞれに異なる。地域で誰が援助を必要としているかを把握し、それにふさわしい事業に取り組むこと、そして地区の状況に合った会員増強の目標を掲げるよう促した。そのため、エクステンションや会員増強についても共通の数値目標は掲げていないが、自らは新年度中に15クラブ新結成という目標を宣言した。

セミナーはジョン・ピアース元国際理事（アメリカ・ニューヨーク）をリーダーに、世界７７０人のＤＧＥが28グループに分かれて受講。日

❶世界中から770人のDGEが集まったセミナー開会式
❷グループ・セッションは六つのグループに分かれて着席し進められた
❸トレード・マークのカウボーイ・ハットをかぶり、DGEの激励に訪れたロス第1副会長
❹❺❻各DGEによる発表では地区の抱える課題や次年度への抱負が語られ、熱心にメモを取る姿も見られた
❼DGEのサインで埋め尽くされた世界地図
❽DGEセミナー閉会式。ロス第1副会長は、マヘンドラ・アマラスリヤ第2副会長とヴェルダ夫人を壇上に呼び寄せ、副地区ガバナーと力を合わせ、配偶者の協力を得て地区ガバナーの責任を全うしてほしいと呼び掛けた

本のDGE33人はグループ15で、野中杏一郎前協議会議長（長野県・松本深志ライオンズクラブ）がグループ・リーダーを務めた。昨年までに比べて1日短縮し2日半の日程だが、事前に多くの課題が出され、各DGEは十分に予習をした上で臨んだ。

野中リーダーはDGEによる発表を中心にセッションを進め、各地区の現状や問題点、新年度に向けた方針が熱心に語られた。頻出したキーワードは「改革」「活性化」「会員維持」。組織改革やライオンズクエストなどの事業への取り組み、会員維持と増強への施策など、多様なアイデアが紹介され、有意義な情報交換がなされた。最終日の午後、33人のDGEへ野中リーダーから修了証が手渡されてすべての日程を終了した。

前述のように、今年度は国際会長が具体的な数値目標を示さず、地区ガバナーに託したことになるが、その代わりにサポート態勢を整えた。今年度はDGEセミナーのグループ・リーダーがメンター（指導者）として、地区ガバナーの相談役を務めることになる。

2006-07年度国際会長プログラム

We Serve
ウィ・サーブ

国際会長 ジミー・M・ロス

ライオンズの皆さん

私のホームタウン・キタケは、アメリカ・テキサス州西部の広大な草原にある人口432人の小さな町です。この町では、草の根的活動が共通の目的で人々を結びつけています。

草の根運動は、世の中のために手を携え自ら率先して並外れたことを手掛ける、普通の人たちのネットワークによって組織されるものです

ライオンズクラブも世界的な組織ではありますが、根本的には草の根の運動です。197カ国で活躍し、政府の尊敬を集め、人道主義を推し進める力として認識されている本協会も、本質的には個別に奉仕する草の根のクラブの集まりなのです。

若きメルビン・ジョーンズが1917年にシカゴでライオンズを誕生させた頃から私たちの組織は大きな発展を遂げていますが、世界最大の奉仕組織となっても、主に地元クラブを通して奉仕を行うことは変わりません。一つひとつのクラブが根本的な構成要素であり、協会にとって欠くことの出来ない核心です。クラブが発展し繁栄すれば、協会もまた発展し繁栄するのです。

だからこそ、私たちは全力を尽くしてクラブを励まし、発展させ、強化し、活気づける必要があるのです。クラブ会長から地区ガバナー、更には国際執行役員に至るまで、協会の指導者は、クラブの奉仕を奨励し支援してください。

新しくなった国際協会と共にウィ・サーブ

世界は常に変化しており、ライオンズクラブ国際協会もその例外ではありません。今日、ライオンズは結果と時間の有効利用に重点を置きつつ献身的に奉仕をする人々の集まりとなっています。

刷新の一環として私たちは、主に次の四つの「マーケット」に的を当て、会員増強を進めていきます。

都市に住む人々：新設の「都市圏会

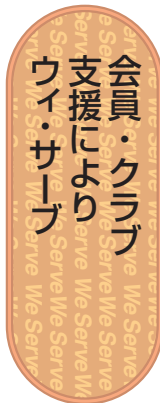
大阪ニューセンチュリー・ライオンズクラブと広島県・福山ニューセンチュリー・ライオンズクラブは合同例会を実施するなど交流を深めている

員増強プログラム」は、特定の居住地域やライフスタイル、関心事などに関連した都会クラブ結成を目的とします。

団塊の世代：第2次大戦直後に生まれたこの世代が、ライオンズで多種多様なボランティア活動の機会を得、自己の生活のみならず、他の人々の生活改善にも寄与することを目的とします。

若い世代：教育がありテクノロジーに通じた若い世代のために、理想的なクラブ形式・新世紀ライオンズクラブを提供します。

特定の関心事を持つグループ：看護、法執行、児童奉仕事業など、具体的なニーズを焦点とするグループが、ライオンズを通してそれぞれの目標達成に役立つネットワークを活用出来るようにします。

会員・クラブ支援によりウィ・サーブ

ライオンズ指導者の最も重要な責務の一つは、「この行為が会員のニーズと期待にどのように対応するか」という問いを常に念頭に置き、応えることです。

国際会長として私は皆さんに仕えます。私が良い仕事をして協会が一層首尾よくその機能を果たす時、協会と私が功を奏することになるのです。地区ガバナーは地区内のクラブがそれぞれの活動において成功するよう助長します。クラブが成功を収める時にガバナーも成功を収めるのです。

クラブや会員に仕えるという接し方は新たな心構えを意味するかもしれません。が、メルビン・ジョーンズが簡単かつ最も明確に言ったように、「他者のために何かを始めない限り、進歩は望めない」のです。指導者として私たちが忘れてならないのは、会員は顧客であって従業員ではない、ということです。ですから、会員に仕えるのです。

失明防止に向けて精力的に活動するアフリカ・ケニアのライオンズ。白内障についての説明書を配布する

クラブの刷新及び発展を通してウィ・サーブ

人々は自分にとって重要なことに取り組んでいる組織に加わることを望みます。地域住民にとって意義があり、更にライオンズ会員及び会員候補者のニーズを満たす奉仕に集中して取り組めば、ライオンズの会員数は驚くほどに伸びる、と私は信じています。

ここで忘れてならないのは、私たちの使命は奉仕である一方、ライオンズクラブは本質的には会員制の組織であるということです。クラブが私たちの「ビジネス」ならば、会員は「お客様」です。会員増強はつまり、顧客の獲得です。皆さんのクラブは、会員の才能を最大限に活用し、意欲的かつ斬新な奉仕事業を行って地元住民に印象付けていますか？　皆さんのクラブはどのように「お客様」にサービスしていますか。彼らは満足していますか？

クラブ刷新

今年度はクラブ刷新の年です。私

たちは新しい参加方法や交流手段を取り入れ、新しい考え方や管理監督法を通してクラブの再構築・再活性化を図ります。

新年度スタートに当たり、私は次の課題を各クラブに投げ掛けます。年度初頭の会合で、クラブが行うすべての例会、事業、勧誘、イメージ、会員など、あらゆることを検討して、会員及び会員候補者のニーズを満たしているかを見極め、左記の3段階に分けてください。

1　非常に優れており、継続及び拡大すべき活動・業務

2　あまり成功しておらず、変更及び改善を加えるべき活動・業務

3　うまくいっておらず、何か真新しいものと置き換えるべき活動・業務

そして時代遅れとなっている部分を改め、「新たな」対応策を決めます。が、「建設を旨として破壊をさけること」とライオンズの道徳綱領が戒めるように、誰かに責任をなすり付けたり、批判したりすることがあってはなりません。会員全員を自由で建設的な討議に参加させるのです。結果は、有望な未来へのクラブ独自の青写真となります。

クラブが改革を進めていくことを決意したら、「クラブ刷新用紙」でクラブの計画を報告します。ライオンズクラブ国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）に簡単に提出出来る報告書へのリンクが設けられています。これを使うと、クラブの講じる方策が自動的に記録され、地区ガバナーにも最新情報が伝えられることになります。

メキシコへの使節団のおかげで何千人もの人々に眼鏡が配布された。眼鏡は世界中のライオンズが集めたもの

報告を完了したクラブには、新しいライオンズクラブ国際協会のメンバーとなったお祝いとお礼の印として、私からの記念品を差し上げます。私たちは世界中のクラブに刷新を強調し、年度末に調査を行って成果を測ります。

新クラブ結成・会員増強を通してウィ・サーブ

本協会の一番目の目的は、「ライオンズクラブという奉仕クラブを結成し、認証状を交付し、監督する」ことです。新クラブ結成は社会奉仕に新鮮な活力を与え、斬新な取り組みを行う新しい有能なリーダーを組織にもたらします。また、ニーズがあってもそれが十分満たされていない分野に奉仕を提供することが出来るようになります。

この目的のため、今年度は私自身、国際会長として、奉仕のニーズがある地域に新しく15のクラブを結成することを決意しました。各地区にも、今年度新クラブ結成・奉仕拡張を目指して独自の目標を設けることを課題とします。それを達成した地区ガバナー及び他のライオンには特別な表彰を用意します。

一方、既存クラブの奉仕を強化することも忘れてはなりません。私は、すべての地区ガバナー、並びにMERLチームを含む各地区の指導者に、ライオンズの奉仕の拡充に向けて目標を設定することを課題にします。

今年度、奉仕の精神を持つ女性会員を5万人迎え入れましょう！　そしてクラブ刷新のチャレンジを通じ既存クラブの奉仕を拡大していこうではありませんか！　私たちは必ず出来るのです！

指導者育成を通してウィ・サーブ

「指導力は、その影響を受ける者のニーズを把握してこそ身につくものである」―マリアン・アンダーソン

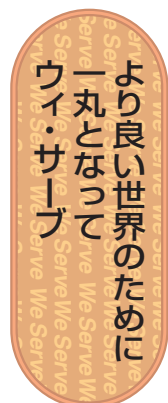
クラブが国際協会の基盤であるのならば、指導力育成の訓練は、その基盤を強化するための手段です。優れたリーダーシップ、明確な進路、そして的確な焦点を持つ力強いクラ

ブは、一層多くの会員を引き付け、維持するのです。

今年度協会は、新しく画期的な「講師育成研究会」を実施し特に地域で行われる育成努力を支援し強化します。資料はオンラインで入手可能となります。

また、国際協会はオンライン学習の最先端技術を取り入れました。公式ウェブサイトのライオンズ学習センターには、すべてのメンバーが費用効率の高い方法で、国際協会に関する基本的な知識を深め、双方向性のオンライン・コースを通して指導技能を磨けるようになっています。

毎年、各会則地域ごとにフォーラムに合わせて上位ライオンズ・リーダーシップ研究会が開催されている。写真は昨年9月の仙台での研究会

より良い世界のために一丸となってウィ・サーブ

「誰のためであれ、人生の重荷を軽くしてあげる人であれば、その人は無用の人ではない」―チャールス・ディケンス

どのクラブにも、困っている人の重荷を軽くする使命、会員の誰もが誇りに出来る奉仕の使命があります。そして地域社会及び世界には、時間と才能を捧げるに値するニーズがいくらでもあります。ここに、ライオンズが特に優れているプログラムの例を挙げてみます。

ライオンズ眼鏡リサイクル・プログラムは毎年何百万個もの眼鏡を、必要でもこれを買えない人々に提供しています。

04年のインド洋沖津波や05年のハリケーン・カトリーナのような災害が生じた時、ライオンズは素早く必要不可欠なサービスを提供しました。そこで、災害が襲った場合にライオンズ緊急事態管理活動をこれまで以上に効果的に行えるようにする指針の設定を、私は国際理事会に提案します。

57年にアメリカ・ペンシルベニア州のライオンズから発足したレオクラブ・プログラムは、奉仕の重要性を学びながらリーダーとして成長する機会を全世界の青少年に与えています。これはライオンズの奉仕の使命を若い世代と共有する最良の方法です。

今や25カ国で活用されているライオンズクエストは、最も高く評価されている青少年プログラムの一つとなっています。青少年が立派な人格を築き社会性を身に付けられるよう、クラブや地区が手助けをする絶好の方法です。

03年にスタートした最新プログラムの一つ、ライオンズ児童奉仕は、地域または国際規模で保健や教育サービスを行うことにより、恵まれない児童及び思春期の青少年の暮らしを改善するプログラムです。

今年度ライオンズクラブ国際協会では、成功を収めているライオンズの募金活動や奉仕事業のオンライン・データベース開発を進めていきます。これによりその実践法を共有することが可能となり、情報を各地域に適合させて利用出来るのです。

協会の公認プログラムには数々の価値ある奉仕の選択肢があります。視力関連事業、糖尿病予防・治療、聴覚障害者支援、環境保全、文化・芸術支援、国際協調推進など、皆さんの夢と地域社会の重要なニーズの両方を満たすものを見極めてください。

ライオンズクエストのグループ学習

奉仕をPRすることによってウィ・サーブ

ライオンズクラブは報道機関に取り上げられないとよく耳にしますが、それは事実ではありません。毎週、世界のどこかでライオンズに関する何十もの記事が地方新聞に掲載されています。国際的なメディアに取り上げられることは難しくとも、小規模な報道機関は地元の情報を絶えず探しています。

河川失明症の予防薬をもらうために地方の村から町にやって来た子どもたち

そこで私たちは新たな取り組みとして、クラブ及び地区レベルでのPR活動を支援し、より多くの手段や資源を提供します。地元の新聞社、ラジオ局、テレビ局に、ライオンズの地域社会での貢献を知らせてください。彼らを招き、事業や影響を直に見てもらえばより効果があります。地元報道機関を通じ、ライオンズの献身を地域の人々に示すのです。

「ウィ・サーブ」を世界的なレベルへと導くLCIF

「自らを捧げた時に真に奉仕をしたことになる」―カーリル・ジブラーン

どのクラブも視力ファースト・キャンペーンII（CSFII）の目標を達成し、突破するために全力を尽くしたいと願うはずです。CSFIIでは1億5千万ドルを集めることを目標としていますが、更に意欲的な目標として2億ドルを掲げています。キャンペーンはLCIF及びライオンズが成果を上げている視力ファースト事業を継続し、更には拡張出来るようにするものです。1回目のCSFを通じ、視力ファーストはこれまでに2400万人もの人々の視力回復・失明予防を行っています。が、その資金はほとんど使い尽くされ、かつ何百万人もの人々が失明に脅かされています。そのためCSFIIが必要なのです。

また災害援助はLCIFの主な人道的使命です。LCIFはライオンズの寛大さ及びボランティア精神を結集し、津波、ハリケーン、地震、その他、あらゆる被災者援助に協力します。LCIFと力を合わせることで、被災地のライオンズは最も切迫したニーズを見極め、それを満たす最も効率的な方法を見いだすことが出来ます。

ウィ・サーブ

今年度、国際会長として私が選んだテーマは、ライオンズクラブのモットー「ウィ・サーブ」です。これは、54年にニューヨークで開かれた国際大会で、全世界から寄せられた6千を超える応募の中から採用されたものです。

ライオンズのモットーは、私たちが行い支持することすべてに根差し、なぜ人々がライオンズクラブの会員となるかを完璧に表現しています。このモットーこそが、会員に活気と誇りを持たせています。自由に、快く思いやりある活動をする意欲を、各クラブに起こさせています。この、私たちを結びつけ、団結させている奉仕の根を大切に育み、一層広く張りめぐらせようではありませんか！　そして、本協会がこれまでにない発展を遂げるのを見守ろうではありませんか！

私が「ウィ・サーブ」をテーマに選んだのには、もう一つ理由があります。この1年は私のためのものではありません。「ウィ・サーブ」はそれぞれが住む地元で、更には世界中で、社会改善のために自ら進んで協力する奉仕精神を持ったすべての老若男女のためのものなのです。私たち全員のテーマなのです。今年度を私たちみんなの年にしようではありませんか！

国際理事だより

■国際理事

伏見龍

（神奈川県・横浜みなとマリン）

ボストンから暑中お見舞い申し上げます

ハリケーン・カトリーナにひと飲みにされたニューオーリンズに代わり、急きょ国際大会開催地となったボストン。近代的なダウンタウンから一歩路地に入ると、中世を彷彿させる赤煉瓦の街並みが大人びていて実に美しい。世界中から参加した1万4千人のメンバーの記憶に残る大会となるだろう。

昨年の香港大会で国際理事に就任、あっという間の1年間は多くの人たちに支えられ、また多くの友人を得た。アショク・メータ国際会長を兄貴のように慕い、共に歩んだ。いつも「フシミ、ハウ・アー・ユー」と、明るく人なつこい目で握手を求めてくれた。

ライオンズがいかに国際的な組織であるかを実感出来るのが国際大会である。快晴に恵まれたインターナショナル・パレード、開会式、そしてメータ会長の年次報告。一字一句にこの1年を思い、涙が出るほど感動を覚えた。

「イッツ・ビギン!!」。代わってはジミー・ロス新国際会長。大変元気なテキサス出身の牧場主である。会長テーマを「ウィ・サーブ」とし、原点回帰を唱えている。テキサスではそれぞれの牧場で固有のブランド(焼き印)を持つ。これは忠誠心のシンボル、誇り、そして命でもある。彼はライオンズのブランド、すなわちプライドを高める意識も同じであると意気軒昂に語った。

さまざまな改革に果敢に取り組む。国際本部での経費、時間の合理化、国際理事、事務局スタッフも削減、大会や理事会日数を短縮化し、また年会費は10～15年は値上げをしない方針だ。

彼の一大目標は今日の会員減少の解決、自ら所属地区で15クラブのエクステンションを目指している。会員増強を強力に進め、早く会員数を140万人、いや160万人に増強し、新しい血、若い人や女性を迎え入れ、協会の新しいブランドを形成したいとする。

現在、中国では驚異的に会員が増えている。また、アラブ首長国連邦でもドバイで二つめのクラブが結成され、今年度はイラクへのエクステンションが図られている。

また2年目を迎えるCSFⅡに全力投球する。地球環境の異変による災害に即座に対応出来るよう、各地区で緊急援助金制度を設け、スピーディーな対処機能を確立したい。資金面では世界中の大企業と連携し援助資金を得られるよう大々的に推進していきたい、とその抱負を熱く全世界のメンバーに発信した。

話は変わるが、昨年度世界のガバナー数は757人であった。トップがアメリカ(会員41万人)で296人。次がインド(14万)64人、三番目が日本(12万)33人、次いでブラジル(4万)28人、韓国(8万)20人の順である。アメリカは1地区平均1400人ぐらい。これに比べ日本や韓国は準地区が大きすぎ、肥大した体をもて余してはいないか。長老主義がまかり通っていないか。早急に分割、日本のガバナー50人体制にすることが必要だ。そして早く40代の若いリーダーを排出し、世界のひのき舞台で活躍してほしい。

ロス会長の下、夢と希望に満ちた770人の新ガバナーは、失敗を恐れず新しい試みに果敢に挑戦して頂きたい。

そしてもう一年、皆様の力強い支援をお願い致します。

ジミー・M・ロス国際会長
会員第一主義へのパラダイム・シフト

ブッシュ前大統領と国際会長ファミリー

地域に加え会員のニーズにも応える

「ライオンズは何よりもまず、自らが暮らす地域社会を重視しなければなりません。私たちは奉仕を通して地域のニーズを満たすことにより、地域の人々の入会を促し、人道主義を世界に広めることが出来るのです。地域に照準を定めることは、会員を増強し、個々のクラブと国際協会全体を強化することにつながります」

ジミー・M・ロス国際会長は自らの方針をこのように説明し、各地域社会、ひいては全世界を導くボランティア奉仕組織として、ライオンズクラブのイメージを高めることを目指している。

「私は、国際協会のあらゆる行動の根拠や資金の使途を綿密に検証したいのです。私たちの行動が会員のニーズを満たすことにつながるか、それに取り組むことが本当に必要か？そうでないとしたら、考え方を改め、クラブと国際協会を成長と繁栄に導く最善の方法を見極める必要があるでしょう。その時初めて、ライオンズクラブ国際協会は新たな一歩を踏み出すことが出来るのです」

と、ロス国際会長は主張する。

テキサスの「ブタにのった少年」

ロス国際会長は、フロモットの実家から100キロほど離れたテキサス州メンフィスで生まれた。幼い頃を過ごした大農場は、少年にとって理想的な環境であった。彼は2歳から馬にまたがり、12歳の頃には調教を始めた。誰も乗ったことのない馬を乗りこなすこともしばしばであり、

「それはロデオのようなもので、私は命がけでしがみついていたものです」と当時を振り返る。彼の家では綿花とピーナッツを栽培し、豚も飼育していた。豚については4歳の頃から乗りこなすことに熱中し、

「風変わりな行動と思われるかもしれませんが、テキサス西部では一般的なことなのです」

と語っている。

ロス会長（右）は幼い頃から乗馬が得意だった

会長はフロモットの中学・高校に通い、いずれも総代として卒業した。高校を終えると奨学金を受けてウエストテキサスA&M大学に入学し、

トゥーソンのアリゾナ大学に通う奨学金も授与された。二つの大学では、共に農業と商業を専攻した。

奉仕を楽しめば 会員は自然に増える

ロス国際会長にとって夫人と家族は、職業人として、また会員としての意欲をかき立ててくれる存在である。ヴェルダ夫人との間には3人の娘を授かり、孫娘も1人いる。

ロス会長を入会へと導いたものは何だろうか？　近隣の地域ではライオンズクラブの活動が盛んだった。高校生の時には、彼の父親を会長とするフロモット・ライオンズクラブが結成されている。「私がライオンズに加わることは、当然の成り行きでした」と彼は言う。しかし、実際に入会したのは大学院を卒業し、オースティンでテキサス州知事のスタッフを務めた後のことであった。

高校時代はアメフトのクオーターバックで活躍

故郷に帰った彼は、フロモットから25キロほどの町、キタケの近郊に土地を購入した。彼は地域社会に積極的に参加し、キタケ・ライオンズクラブから招請を受けると、即座にこれを受け入れた。わずか1年で、精力的な若い会員はクラブ会長に選ばれた。新たなクラブ会長は地域社会奉仕に積極的に取り組むと同時に、会員に「楽しむ」ことを奨励した。

若い指導者は年度末までに、クラブの会員数を52人に倍増させるという偉業を達成した。人口がわずか450人ほどの町で、である。「私たちのクラブでは、会員増強のための活動はしませんでした。ただ優れた活動を実施し、会員自身が楽しんでいました。人々は向こうから訪れ、入会を申し出てくれたのです」と彼は言う。

小さな奉仕から 始めるべし

クラブ会長として最初に取り組んだのは清掃活動であった。「町の歩道や花壇から生い茂った雑草を取り除くことは、さして骨の折れる作業ではありませんでした」と彼は振り返る。「会員はこの活動を楽しみ、写真を撮ってアルバムの最初に貼りました。より野心的な地域社会奉仕に向けて、クラブは第一歩を踏み出したのです」。彼の意見によれば、「最初は小さな活動から始めるべきであり、大きな事業を試みるべきではない」と言う。

キタケの町を清掃するロス会長（右から２人目）と仲間たち

クラブの次の活動は事実、町の家々に番地を付けるという、少しだけ大きなものであった。町の道路には標識が付いていたが、番地の標識は存在しなかった。そのため、会員は付番方式を考え、希望する多くの住民の家に標識を設置した。

クラブは次いで資金調達活動に取り組み、ハロウィーンのキャンデーを販売して成功を収めている。「私たちは活動を次第に拡大していき、地域の人々から道具や不用品を引き受けて、競売にかける活動に取り組みました。私たちは、これを『農場市』と呼んでいます。会員は販売価格の一部を手数料として請求し、数千ドルの資金を確保しました。この資金は、古い診療所を公民館に改築し、近代的な診療所を設置するために役立てました」

このように、国際会長のクラブは地域社会奉仕を次第に高めていった。

ライオンズ経験は 事業にも生きる

会員としての視点は、彼の職業や他の社会活動にも生かされていた。職業は主に自営の農業と牛の飼育で

結婚式でのロス会長とヴェルダ夫人

あり、毎日長時間を屋外で過ごしていた。彼の事業は成功し、多くの忠実な従業員は全力で仕事に打ち込んでいた。その理由を、彼は次のように述べている。

「自分がやらない仕事は、決して頼まないことです。単に指示を与えるのみならず、自ら率先垂範することが大切です」

ロス会長はまた、地区保護観察委員やテキサス州26郡の９１１全非常通報システムの組織委員長など、地域社会における数々の要職を歴任し、郡判事を経験したこともある。少年審判を司り、郡の危機管理にも責任を負っていた。

２００の新クラブを結成させる

クラブ会長としての任期を終えると、彼はゾーン・チェアパーソンへの就任を要請された。地区の指導部に強い印象を与えた彼は、まもなく副地区ガバナーへの立候補を要請される。彼は、80年代の半ばには農業から引退し、ライオンズの指導者として専念出来る立場に身を置いた。85年度に地区ガバナーに選ばれると、年内に八つの新クラブを組織、エクステンションの指導者として揺るぎない名声を打ち立てた。

会長は長らく、会員とクラブの増強に驚異的な実績を達成し続けた。彼が自ら組織したクラブは、実に２００クラブを超えている。

「本当のところ、会員の増強を難しいと思ったことは一度もありません。なぜなら、会員候補を自分の顧客であると考えれば、彼らのニーズと期待を理解し、それを満たすべく体制を整えることは当然です。会員のニーズが満たされた時、クラブの拡大を妨げるものは何一つないのです」と、彼は主張する。

新クラブの結成と会員の増強における成功は、当然ながら複合地区の指導部の認めるところとなった。ロス会長は協議会議長に選ばれ、州内全域を飛び回って68の新クラブを結成させた。やがてテキサス州から国際理事候補を選ぶ時期が来た時、ジミー・M・ロスの名前はリストの筆頭に挙がっていた。彼は96年のモントリオール国際大会で国際理事に選ばれ、その２年間の経験を通して、ライオニズムの世界的な目的を完全に理解するに至ったのである。

アケステム国際会長（右）と談笑するロス国際理事

会員第一主義への転換

国際協会の最高責任者に就任した本年度も、自らの哲学に従い全力を尽くすことになるだろう。「任期が終わるまでの間に、国際協会の活力を更に向上させたいのです。それは、いわゆる『パラダイム・シフト』を実現することによって達成されます」。その方法を、会長は次のように説明する。

「パラダイム・シフトとは、人々や組織が『物事のあるべき状態』についての理解や認識に根本的な変革を経験することです。つまり、問題を新たな視点から見直すことです。パラダイム・シフトは競争力と実効性を高めるものとして、以前から民間企業に取り入れられてきました。彼らは継続的な改善によって、顧客のニーズを満たす新しく効果的な方法

の開発に取り組んできたのです」

「ライオンズクラブ国際協会のような奉仕組織にとって、このことは何を意味するでしょうか?」と彼は続ける。「実際、人々の地域社会奉仕に対する考え方や、ボランティアに対する要望には、過去20年の間にパラダイム・シフトが起きています。20年前のボランティア組織では、優先されるべきは組織であり、会員は組織に奉仕するために存在すると考えられていました。しかし、現在では企業組織とボランティア組織の別を問わず、その第一の課題は成員のニーズに応え、彼らを支援することにあります」

「国際協会にとって、個々の会員は顧客とも言うべき存在です。パラダイム・シフトが実現されれば、国際協会は彼らのニーズにより効果的に対応することが出来るでしょう。それは、ウィ・サーブの理念を各地域社会と国際社会に普及する唯一の方法です。私たちは、現在と将来の会員がライオンズに何を求めているのかを見極め、それを満たすべく努力する必要があるのです。会員のニーズが満たされた時、クラブ、地区、国際協会全体の基礎は確実に強化されることになるはずです」

貧しい人々の人生を変える力がある!

執行役員としてのさまざまな場面でも、彼は刺激と示唆を受けることになった。世界の貧困地域に眼鏡と視力回復治療を提供する使節団への参加は、特に意義深い経験であった。

例えばグアテマラ・シティを訪ねた時には、12歳の少女が部屋に招き入れられた。彼女の視力は極めて低く、チャートに描かれた大きな「E」の文字さえ読むことが出来なかった。しかし2時間も経たないうちに、検査を終えた彼女には眼鏡が贈られた。彼女はほぼ正常な視力を手に入れ、文字を読めるようになったのである。

「彼女の人生が変わった瞬間でした」と会長は言う。

「世界には眼鏡を必要としながら、入手の手段や機会を持たない人々がいます。こうしたあらゆる人々に眼鏡を贈りたいものです。ライオンズにはその力があるはずです!」

あらゆる会員のニーズを満たしたい

ロス会長によれば、あらゆる家族のニーズを満たすことは、国際協会の重要な目標の一つである。

「両親は、1歳から思春期前の子どもたちが能力を最大限に発揮出来るよう動機づけをしなければなりません。私たちは、それをどのように支援することが出来るでしょうか? レオクラブ・プログラムは、10代の青少年と若い成人が自らの可能性を見いだせるよう手を貸します。またライオンズは21歳から35歳までの若い男女を積極的に招請するべきです。なぜなら、彼らはクラブに活力をもたらすのみならず、国際協会の将来を象徴する存在でもあるからです。同時に、36歳以上の会員のニーズを満たすことも大切です。世界最大の奉仕クラブ組織を構成するあらゆる会員の希望は、すべて満たされなければなりません」

会長は、それぞれの会員層の特徴とニーズを分析し、理解し、それを満たすべく国際協会を改革すべきであると考えている。

ロス会長の心からの願いは、後続の国際会長が本年度のプログラムと方法を引き継ぎ、成功に導いてくれることである。テキサス州の小さな町キタケ出身の彼は、本年度の任務に私心を捨てて取り組むことを誓い、次のように断言する。

「『ウィ・サーブ』の理念が、すべてを物語っています。この簡潔な言葉は、常に世界最大の奉仕クラブ組織の成長を導いてきました。その事実は、今後も変わることはないでしょう」

ロス会長の出発点であるキタケに立つ標識

■谷野徹新国際理事の横顔

下関の人、国際舞台に立つ！今こそ発信「小さくとも出来ることからウィ・サーブ」

私たちを取り巻く環境が大きく変わろうとしている時、私たちは新しい自らの代表として、谷野徹新国際理事を国際舞台に送り出した。変革の嵐の中、吹きすさぶ風はすさまじい。新国際理事はその烈風の中に立つ。336-D地区、山口県・下関から立った新国際理事は、かつて農業者としてオランダとドイツに赴き、国際交流に大きな実績を残している。その事跡を背にして、新国際理事は今、新たな風を起こそうとしているかのようだ。谷野徹新国際理事のプロフィールを紹介しよう。

■谷野徹（たにの　とおる）
1989年下関ライオンズクラブ入会
1997-98年度クラブ会長
2001-02年度ゾーン・チェアパーソン
2005-06年度336-D地区ガバナー

都市化の進む下関市の農家の長男に生まれた

1941年、日本を取り巻く国際環境は緊迫の度を強めるばかりであった。

7月、アメリカは在米日本資産の凍結令を布告し、8月、すべての侵略国に対する石油輸出を全面的に禁止した。9月、日本では灯油、軽油に切符制が導入される。10月、あらゆるものに対する配給制度が徹底され、乗用車のガソリン使用が禁止となった。同じ10月の10日、山口県下関市武久町の園芸農家谷野家で長男が生まれた。元気で利発そうな男の子であった。徹と名付けられた。

同じ10月の18日、緊迫した日米関係を背景にして東条英機陸軍大臣を首相とする戦時内閣が発足、12月、太平洋戦争が勃発する。

谷野家は菊などを中心とした花卉を栽培、他に借家を持ち比較的余裕のある農家であった。徹少年が4歳の年に戦争は終わり、長男であった徹少年は、大学進学の望みはあったものの、当然農家の跡を継ぐつもりでもあった。それでも高校は地元では有数の進学校下関西高校を選んだ。選びはしたものの何しろ活発な徹少年、遊び回ってばかりいたものだから、

「お前、そんなことでは下関西高校は絶対受からんぞ。保証する」

と、妙なところで太鼓判を押されてしまった。「なにくそ！」という不屈の精神はこの頃から健在だった。それから一カ月半、人が変わったと言われるような猛勉強が始まった。

見事に栄冠を手にした徹少年、今度はハンドボールに青春をかけた。卒業が迫る。既に進路は実家の花卉農家の跡を継ぐことに決めていたから、ためらうことなく久留米市にあった農林省園芸技術者養成所に進んだ。ところが世はあげての高度成長時代につき進み始めていた。

1960年代に入ると下関も急速に都市化の波に襲われ、父も耕地を縮小して借家を増やし始める。

農家を継ぐという徹少年の夢はやむなく頓挫、1962年、少年は下関市役所に奉職、農業関連の職場に配置されることとなった。

徹青年が勤続10年目を迎えようとしていた1971年、思いがけぬ辞令が舞い込んできた。国際農友会の実習生としてオランダへ赴くようにという辞令であった。

市役所勤務時代はバンド活動にも熱中し、ドラムを担当していた

国際農友会の実習生として切花生産の盛んなオランダへ

下関は昔から切花生産の盛んな土地で、生産技術を高めるために、海外への農業実習生の派遣にも力を注いでいた。谷野青年の派遣に直接的力となったのは、農林水産省の外郭団体の社団法人国際農友会で、この会は1952年に、先進的な海外の農業技術に学ぼうと設立され、後に社団法人農業研修生派米協会と統合して国際農業者交流協会となる。

当時、国際農友会では年間百数十人の実習生をアメリカへ、三十数人をヨーロッパへ派遣していた。今でこそ海外に出かけるのは隣の公園に遊びに行くぐらいに簡単になってしまったが、1971年と言えば、まだまだ海外旅行などは高嶺の花の時代で、日航が「JALパック」を発売して海外旅行の大衆化が始まったのがやっとその6年前、海外渡航時

の外貨の持ち出し制限が撤廃されたのが72年という時代のことである。出かける方も、送る方もなかなか大変であった。

初のオランダ行きは、旧ソ連周りで、4人の仲間と共に、まず横浜からナホトカへ船で渡った。そこから列車でハバロフスクへ向かい、シベリア鉄道に乗り換えてモスクワへ。モスクワからは飛行機でオランダへ向かうはずであったが、肝心の飛行機が飛ばないということになった。時は真冬、お湯の出ないホテルで、いつ出発するか分からない飛行機を待つ羽目になった。

オランダでの実習先農家とは、その後も家族同然に付き合っている

見渡す限りの雪の白さと、灰色の建物、色彩らしいものといえば赤い国旗くらいのもので、憂鬱な日々を過ごした。

待つこと3日、モスクワを飛び立って、しばらくしてからはるか彼方に緑の広がりが見えた。心和ませる色彩であった。初の海外旅行で心細かっただけに、そのグリーンフィールドは生涯忘れられない色彩となって心の原風景に残った。

オランダでの実習は、身にしみる日々として心に刻まれたが、それ以上に同じ農業者としての日頃の実感が共通した思い出として残り、帰国後も受け入れ農家との家族ぐるみの付き合いが続いた。

この体験が、谷野青年を更に積極的な農業者として生まれ変わらせた。谷野青年は自らの体験を基にして農友会に対してヨーロッパ駐在員事務所の設置を提言した。派遣実習生の多いアメリカには、既に駐在員事務所が設置されていたから、提言は極めて実情に即したものとして受け入れられた。おまけに何と、谷野徹青年を初代駐在員に任命するという辞令も一緒に下ってきた。

瓢箪（ひょうたん）から駒、寝耳に水の騒ぎとなった。アメリカで駐在員をしている友人に尋ねたら子どもの教育のことなどもあって、一家を挙げての移住は結構大変そうであったが、熟慮・決断の人だけに、こうだと決めたら迷いは無い。夫人に対してはたった一言。

「みんなでヨーロッパに行くことになったよ」

谷野夫人も心得たものだった。決して亭主関白ではないものの、こうと決めたら決してぶれないことは、承知の上のことであった。

初めは単身赴任であった。駐在事務所の適地を探し求めて、ヨーロッパの交通の便を考え、駐在国を当時の西ドイツと定め、都市としてはあまたの候補地の中から暫定首都であったボンを選定した。デュッセルドルフやフランクフルトなど日本人の多い都市、大企業の目立つ都市なども候補地に挙がったが、ここでも熟慮・決断の人柄がものを言った。決めたからにはてこでも動かない。

谷野夫人評。

「子どもたちには厳しい父親だったと思う。特にドイツの頃は、緊張感もあったと思うし、外国で暮らす上で、日本人としてのアイデンティティーを持ちなさいという気持ちが強かったのじゃないでしょうか」

精力的だった。谷野青年は実習プログラムのコーディネーター、管理・監督者としてヨーロッパの4カ国、三十数軒の実習生受け入れ農家を訪ね、教育プログラムを練り、意見交換の場を設け、効果を上げていく。こうして、ドイツでの充実した5年間は瞬く間に過ぎた。

ドイツから帰国する際、ヨーロッパの友人たちに送った家族写真

時流を見据え、農業者からライオンへの大きな転換を果たす

1978年、谷野青年はドイツから帰国後、下関市内で大型園芸店の経営に乗り出す。観葉植物としては市内最大の店であった。ところが、時流は変わる。顧客層は高齢化し、リピーター客が少なくなった。この流れの変化をとらえ、園芸店に隣接させてコインランドリーを開設すると共に、並行して不動産業を営んでいった。狙いは的確であった。

帰国して10年ほど経ったある日、「ライオンズクラブへ入らないか」という誘いがあった。ドイツ駐在の頃、ロータリークラブの例会場になっているホテルに泊まったことはあったものの、ライオンズクラブという名は初めて聞く名であった。しかも誘われたクラブである下関ライオンズクラブの会員名簿に目をやると、何と、ずらり60人ほど、下関市の著名の士ばかりではないか。さすがに気後れがした。

誘ってくれたのが、当時旅館を経営していた高校時代の旧友だったこともあって、熟慮・決断、決めてからは、こゆるぎもしない。入会2年目でテール・ツイスターを拍手の内に務め終え、翌年はクラブ幹事として腕を振るった。幹事を務めた3年後、会長に選任され、ゾーン・チェアパーソン、副地区ガバナーを務め上げ、2005年7月、香港で05・06年度の336・D地区ガバナーに就任する。

掲げられたガバナー基本方針は極めて明快率直なものであった。

「小さくとも出来ることから『ウィ・サーブ』」

この明快な方針の下に三つの重点目標が示される。①会員増強とエクステンションを進める。②メンバーシップ、エクステンション、リテンション、リーダーシップの委員会活動の強化。③会員の資質の向上と若い人材の育成。

いろいろな形態がある中で、何であれ、出来ることから手掛けていこうというスタンスで地区運営に当たった。特に若い人材の育成に力を入れ、キャビネット人事でも殿井正敏幹事と共に、次の世代にキャビネットを持つチャンスが回ってきた時のことを考えて、若手を登用した。また、レスポンスを早くすることも心掛けた。

ライオン谷野の言動にはぶれもなければ時流に外れてもいない。見事というほかない。周りもそのことを良く見ていた。

「対応が早いということを、いろいろなクラブや会員から言われた。目線がこちらと同じ位置にあってこちらが言ったことを素早く取り上げてくれる。トップダウンではなく、皆と一緒にやってくれるところに人柄の大きさを感じる。国際感覚がある上、日本人らしさを大切にする人だ。大いに期待している」(ライオン殿井)

かつて農業者として国際舞台に立ち、日本への信頼を広げた実績を持つ人が、今、ライオンズクラブという名の国際舞台に登場する。話題の人はさらりと、次のように述べて、更なる一歩を進めようとしている。

「日本一つをとっても東京、大阪などの都会のクラブと、島根、山口などのクラブでは違う。世界的には更に違いが顕著にあると思う。そういういろいろなバラィエティーを組み合わせていきたい。ライオンズとしての哲学・理念を今一度構築し直すべき時ではないか。いろいろなライオンズが自分の中に入ってくることに対して、期待感がいっぱいだ」

(報告/原田啓雄)

お孫さんには、大甘のおじいちゃん

2006-07年度

複合地区ガバナー協議会議長紹介

今年度議長に就任された8人の抱負、方針、重点課題などを紹介する。
略歴は所属クラブ、ライオンズ入会年、主なライオン歴、職業、年齢の順。

330複合地区議長　中村　保彦

なかむら　やすひこ　東京上野東ライオンズクラブ。1974年CM。87、04年度クラブ会長。90年度ZC。98年度RC。05年度330・A地区ガバナー。累進MJF。税理士、中村保彦事務所所長。63歳。

国際理事会の管理監督下に置かれ、責任と義務だけは人一倍だが、地区ガバナーより権限が希薄？

日本的組織論と国際会則の矛盾を感じるのは私だけか？

しかしながら推戴され受諾した以上、諸事情により会員減少を余儀なくされている全日本レベルの活性化と複合地区の融和と団結、更には最重要課題である会員増強などに取り組み、「花の330」と呼ばれた時代の復活を目指す。原点は単一クラブにあることを強く意識して社会のニーズに応える奉仕活動の指針を示し、指導していく。

複合地区は功成り名を遂げた人たちの一丁上がりの姥捨山ではない。まずここから改革か？

332複合地区議長　杉山　正夫

すぎやま　まさお　宮城県・石巻日和ライオンズクラブ。1979年入会。88年度クラブ会長。94年度ZC。99年度RC。03年度332・C地区ガバナー。04年度MD会則委員長。累進MJF。㈱ナリサワ代表取締役社長。60歳。

332複合地区第52回年次大会でガバナー協議会議長に選出され、ライオンズクラブの意義ある活動に寄与するため、この職責を果たしたいと考えております。「12000名の叡智をあつめ、さらなる人道支援を」のスローガンの下、6準地区の会員の力を結集して、多様な方策を進めていきたいと思います。CSFⅡは重要な国際プログラムであり、当複合地区においても強力に推進していくことが、先の年次大会で決議されました。ガバナーの皆様と協議、協調をしながらより高い目標に達するよう努めていきたいと思います。そして東北の仲間たちと手を携えて、伝統を誇るライオンズの活動を、更に発展させるべく努力致します。皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

331複合地区議長　桶谷　賢知

おけや　けんぢ　北海道・札幌フロンティア・ライオンズクラブ。84年北海道・札幌オーロラ・ライオンズクラブ転籍CM。93年度クラブ会長。03年度RC。05年度331・A地区ガバナー。累進MJF。菱晃産業㈱代表取締役。64歳。

本年度の活動の中心も、CSFⅡと会員増強であろう。

前年度、地区ガバナーを務めて思うことは、国際協会の基本方針に対する複合地区の無力感だった。その原因は、準地区間の融和と協調が、かえって行動と責任の所在を希薄にしていること。また、複合の権限制約を任意性に転じ、自主性尊重をリーダーシップの欠如に置き換えるような、逃避の論理に走る傾向である。準地区の責任分担という中和機能が、協議会の体質となっていることが反省される。

今年度は、地区ガバナー経験者から複合地区議長を選ぶ新機軸を、準地区の運営になじませる仕上げの年にしたい。複合の組織構成、制裁と顕彰の強化、準地区からの運営上の相談にも応えられる協議会の確立に取り組みたい。

333複合地区議長　鈴木　正二

すずき　しょうじ　茨城県・日立中央ライオンズクラブ。1982年入会。89年度クラブ会長。95年度ZC。01年度RC。04年度333・B地区ガバナー。累進MJF。㈱セイキョウ代表取締役。71歳。

各地区ガバナーとの連携を密にし、ライオンズの原点を忘れず、社会に気配りの出来る複合運営に努めて参ります。

重点目標は、CSFⅡと次代を担う青少年を薬物から守る「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」の普及です。このプログラムは、厚生労働省や文部科学省、警察庁などから後援名義の使用が承認されました。今後は各複合地区で大きく取り上げて頂き、薬物乱用防止に対する日本ライオンズの取り組みが国際協会から称賛され、薬物乱用防止のモデル地区として全世界に発信出来れば、と願うものです。ライオンズが学校へ行き講座を開く。結果、ライオンズと地域との連携が強化され、会員の増強と会員維持の道が開けるものと考えます。

経歴及び本文中で使用している略語は下記の通り。
CM＝チャーター・メンバー
CSF Ⅱ＝視力ファースト・キャンペーンⅡ
MJF＝メルビン・ジョーンズ・フェロー
RC＝リジョン・チェアパーソン
ZC＝ゾーン・チェアパーソン

334複合地区議長　高田　順一

たかた　じゅんいち　富山昭和ライオンズクラブ。1984年CM。90年度クラブ会長。99年度RC。03年度334・D地区ガバナー。04、05年度MDリサーチ・長期計画委員長。累進MJF。阪神化成工業㈱代表取締役社長。57歳。

地区ガバナー経験者が複合地区議長を務める制度になって2年目。この制度の良いところを生かし、5人の地区ガバナーの協力の下、複合地区内のクラブの活性化に取り組んで参ります。クラブと複合地区との間には、意識の上で大きな乖離があります。複合地区年次大会や複合地区委員会が果たしている役割、意義を会員の皆さんに理解して頂けるよう働き掛けていきます。

スローガンは「未来につなげる　いのちとひかり　今、日本の真ん中から」。CSFⅡやライオンズクエストは生きる力を育み、ひかりを失う悲しみから多くの人を救います。日本の真ん中にある複合地区として、これらの運動の先頭を担う意気込みと誇りを表したものです。

336複合地区議長　永井　義夫

ながい　よしお　島根県・浜田亀山ライオンズクラブ。1975年CM。78年度クラブ会長。99年度RC。04年度336・D地区ガバナー。累進MJF。石王観光㈱代表取締役会長。76歳。

先の336複合地区年次大会で、皆様方のご推挙を頂き複合地区ガバナー協議会議長という重責を担うことになりました。誠に光栄の至りであります。各地区ガバナーと緊密に連携を取り、意志疎通を図って、国際協会の方針を推進し、準地区間の更なる調和と一層の団結に寄与して参りたいと思っております。また本年度は、ボストン国際大会において当複合地区から国際理事に就任された谷野徹国際理事への支援拡大など、課題の多い年となりますが、国際理事、元国際理事並びに地区役員の助言、ご協力を賜りながら、ライオニズムの高揚のため全力を傾注して、336複合地区の更なる発展を目指したいと思います。

皆様方のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

335複合地区議長　髙橋　祥治

たかはし　しょうじ　大阪府・堺仁徳ライオンズクラブ。1981年入会。92年度クラブ会長。96年度ZC。98年度RC。02、03年度地区指導力育成委員長。05年度335・B地区ガバナー。累進MJF。㈱髙橋建築設計事務所代表取締役。66歳。

地区ガバナーに引き続き、今年度335複合地区の議長にご推薦賜り誠に光栄に存じております。また今年度の協議会議長連絡会議の新旧議長引継会の席上、図らずも、世話人に選出され、その責任の重さを厳粛に受けとめ、国際理事並びに各複合地区議長の助言、ご協力を賜りながら、日本のライオンズクラブが一つの心になるよう、いろいろな事柄に対処して参りたく思っております。国際協会の方針、目的を的確に把握し、複合地区では準地区内の調和を取りながら、8複合地区間では「日本は一つ」の心でもって活動を行いたく思っております。

日本ライオンズの更なる発展のため、精進して参りますのでよろしくお願い致します。

337複合地区議長　井野邉　義一

いのべ　よしかつ　大分ライオンズクラブ。1971年入会。86年度クラブ会長。94年度ZC。97年度RC。98年度地区PR、指導力育成委員長。03年度337・B地区ガバナー。累進MJF。医療法人長敬会井野辺病院理事長。75歳。

今回図らずも複合地区ガバナー協議会議長に選出され、就任致しました。去年から現職のガバナーが協議会議長を兼ねることが出来ない制度となり、馬場馨前議長に続き2代目の新制議長ということになります。ガバナー協議会は複合地区での最高意思決定機関で、その任務は複合地区の運営及び管理など、たくさんあるようですが、私の仕事は要するに4人の地区ガバナーと意思疎通を十分に行い、各ガバナーが存分に実力を発揮して準地区を運営出来るように環境を整え協力すること。そして、全日本レベルの仕事に337複合地区を代表して全力を尽くすこと、と考えております。微力ながら最善を尽くしますので、関係各位のご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。

NEWS CASSETTE

2006年人道主義大賞受賞者はインドの慈善活動家

2006年のライオンズ人道主義大賞は、インド・ムンバイのシュリ・ディプチャンド・サブラジ・ガルディ氏が受賞した。7月4日に開催されたボストン国際大会閉会式において、アショク・メータ国際会長から賞が授与された。

今年91歳になるガルディ氏は49才の時、法律関係の仕事を退いて学校建設などの慈善事業に身を捧げた。「特に女子が教育を受けられるようにしたかったのです。母親に教育があれば、社会全体の未来を一変させることが出来ます」と語っている通り、まずは女子学校の建設を手掛けた。ディプチャンド・ガルディ慈善財団は、学校、病院、宗教団体、高齢者施設並びに地域の保健関連プログラムに、年間約80万ドルを投入している。

ガルディ氏にはLCIFから賞金20万ドルが贈られた。

ボストン国際大会における代議員投票の結果

ボストン大会の代議員登録数は全体で5325人(補欠478)、日本は427人(同10)だった。最終日の7月4日に行われた代議員投票の結果は以下の通り。国際会則及び付則改正案6項はいずれも賛成多数で可決。候補者2人の選挙となった国際第2副会長には、アメリカ・ニューヨーク州のライオンアルバート・F・ブランデルが当選。2006～08年国際理事選挙は定数のみの立候補で、日本のライオン谷野徹を含む16人の国際理事が選出された。

日本の国際理事の所属委員会決定

7月4日、ボストン国際大会終了直後に開催された国際理事会で各委員会の構成が発表された。日本選出の2年目理事、伏見龍国際理事は会員増強委員会とPR委員会、山田實紘国際理事は長期計画委員会と大会委員会(副委員長)、1年目理事の谷野徹国際理事は大会委員会に所属する。また、国際会長、前国際会長、第1・第2副会長と国際理事1人で構成される執行委員会に、山田理事が入った。日本の理事の執行委員会入りは85年の小川清司理事、92年の米島忍理事以来で3人目。

国際アカデミー賞の受賞者発表

7月2日に開催されたライオンズの国際アカデミー賞授賞式で、ベスト・ライオンズクラブ、ベスト・クラブ会長など15のカテゴリーと、特別賞四つの受賞者が発表された。日本からは334-E地区がカテゴリー9：ベスト地区に選ばれた。全受賞者のリストは、国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）の「オンライン国際大会」に掲載されている。

CSFⅡモデルクラブとリードギフトの表彰

7月3日に開催されたボストン国際大会第2回総会でCSFⅡモデルクラブの表彰が行われた。表彰は会員1人当たりの献金額で各会則地域のトップと、全世界のトップ10に対して行われた。世界のトップは香港のブラマー・ヒル、タイのバンコク・チャイナタウンの両クラブ（献金額1人4762ドル）。日本は4位京都御室（2409ドル）、5位福岡玄海（2096ドル）、6位東京王仁、愛知県・名古屋ウエスト（2000ドル）、8位名古屋本丸（1961ドル）、9位京都イースト（1786ドル）。トップ10（13クラブ）のうち3、7、10位がアメリカで、他の10クラブは東洋・東南アジア地域のクラブだった。また鈴木誓男334-A地区ガバナー、曽我一義同副地区ガバナーが、リードギフト（10万ドル献金）の表彰を受けた。

2006年国際コンテスト結果

ボストン国際大会で各種国際コンテストの結果が発表され、日本からはクラブ部門で友好バナーの1位を滋賀県・栗東ライオンズクラブ、佳作を愛知県・蟹江ライオンズクラブ、PRアイデアの1位を大阪天王寺ライオンズクラブが獲得した他、ウェブサイトの複合地区部門で334複合地区が佳作に選ばれた。各コンテスト第1位は左記の通り（全結果は公式ウェブサイトのオンライン国際大会参照）。

友好バナー＝クラブ：滋賀県・栗東（日本）

会報＝クラブ：Irinjalakuda（インド）／地区：325-A（ネパール）

写真＝会員：John F. Dunn（Prescott Noon／アメリカ・アリゾナ州）／クラブ：Chicago Mayfair（アメリカ・イリノイ州）／レオクラブ：Oatley（オーストラリア）／地区：25-F（アメリカ・インディアナ州）

PRアイデア＝会員：David E. Shields（Charlemont／アメリカ・マサチューセッツ州）／クラブ：大阪天王寺（日本）／地区：118-K（トルコ）

交換ピン＝クラブ：Shiloh（アメリカ・ペンシルベニア州）／地区：14-E（アメリカ・ペンシルベニア州）／複合地区：U（カナダ）

ウェブサイト＝クラブ：Hammonton（アメリカ・ニュージャージー州）／地区：201-N5（オーストラリア）／複合地区：18（アメリカ・ジョージア州）

インターナショナル・パレード・コンテスト結果

ボストン国際大会のインターナショナル・パレードでコンテスト委員会による審査の結果、各部門の第1位は下記の通り（全結果は公式ウェブサイト参照）。日本はユニフォーム部門で2位に選ばれた。

▼**第1部**：フロート＝2複合地区（アメリカ・テキサス州）／バンドI＝5M複合地区（アメリカ・ミネソタ州、カナダ・マニトバ州、オンタリオ州）／バンドII＝30複合地区（アメリカ・ミシシッピ州）／均整行進隊＝23複合地区（アメリカ・コネチカット州）／ユニフォーム＝103複合地区（フランス）▼**第2部**：バンド＝321～324複合地区（インド）／均整行進隊＝20複合地区（アメリカ・ニューヨーク州、バーミューダ諸島）

100％MJFクラブの表彰

7月3日、ボストン国際大会で開催されたメルビン・ジョーンズ・フェロー（MJF）昼食会で100％MJFクラブの表彰が行われ、アメリカ1、日本6、韓国6の合計13クラブにクレメント・クジアク理事長から盾が贈られた。日本は北海道・札幌アカシア、札幌オーロラ（2度目）、栃木県・宇都宮和光、大阪淡路、奈良県・田原本、福岡桜の各ライオンズクラブ。

国際理事会で承認された日本へのLCIF交付金

国際大会に先立って開催された国際理事会で、LCIF一般援助交付金37件178万2862ドル、国際援助交付金2件3万7000ドル、四大交付金2件181万9862ドルの交付が承認された。うち日本は一般援助交付金は2件3万7900ドル、四大交付金は2件12万5000ドル。内容は以下の通り。

SightFirst Update

視力ファースト・クイズ：あなたの知識をチェック

あなたは視力ファーストについてどれくらいご存じですか。その知識をチェックしてみましょう。次の10の質問にお答えください。

＊解答は「リーダース・プラザ」(62ページ)に掲載

1. 視力ファースト事業により視力回復、失明予防が出来た人は？
   a. 78万人
   b. 235万人
   c. 1265万人
   d. 2500万人

2. 視力ファーストがカーター・センターとパートナーシップを組み、メクチザンの投与によって7千万人もの失明を予防した病気は？
   a. トラコーマ
   b. 河川失明症
   c. 緑内障
   d. 糖尿病性眼病

3. 視力ファーストはアフリカとアジアの発展途上国での失明予防に最も重きを置いているので、日本などの先進国での事業は実施していない。
   a. 正
   b. 誤

4. 視力ファーストの基金は、視力ファースト・キャンペーン及び視力ファーストへの献金のみで賄われている。
   a. 正
   b. 誤

5. 予防または治療可能な失明は何％か。
   a. 10％
   b. 50％
   c. 62％
   d. 80％

6. 世界中ではどれくらいの頻度で1人の子どもが視力を失っているか。
   a. 1分ごと
   b. 5分ごと
   c. 10分ごと
   d. 18分ごと

7. 視力ファーストが世界保健機関（WHO）とパートナーシップを組み、小児失明を予防するための小児アイケア・センター建設を計画している国の数は？
   a. 5カ国
   b. 13カ国
   c. 22カ国
   d. 30カ国

8. 対トラコーマ国際組織はライオンズクラブ国際協会にトラコーマ・ゴールドメダル2006を授与した。
   a. 正
   b. 誤

9. 2005年、ライオンズ会員であるジミー・カーター元アメリカ大統領は、何世紀にもわたり失明を引き起こしてきたある病を2010年までにラテン・アメリカで撲滅するために、ライオンズが担った役割に対し称賛を贈った。その病とは何か。
   a. トラコーマ
   b. 河川失明症
   c. 緑内障
   d. 糖尿病性眼病

10. 視力ファーストの開始により、毎日平均どれくらいの人が視力回復や失明の回避という恩恵を受けてきたか。
   a. 125人
   b. 976人
   c. 2322人
   d. 4500人

一般援助交付金▼335-B地区＝カンボジアに小学校建設1万6838ドル▼337-D地区＝高齢者用移動入浴ユニット購入2万1062ドル

四大交付金▼331-A、B地区＝ライオンズクエスト・プログラムの拡張10万ドル▼334-D地区＝ライオンズクエスト・プログラムの拡張2万5000ドル

日本ライオンズからのジャワ島地震救援金

第8回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議において、インドネシア・ジャワ島中部で発生した地震被災者救援のために開設したジャワ島地震救援金口座への入金状況が報告された。6月25日に締め切られた同口座への入金総額は4169万5529円で、全額をLCIF指定献金へ送金した後、口座は解約された。日本ライオンズ連絡事務所の調べによると、地区及び複合地区から直接LCIFのインドネシア地震救援に送金された指定献金は810万9000円で、両者を合わせると日本からの救援金は約5千万円になる。

LCIF Update

2005年の災害を奉仕への教訓に

LCIF理事長 クレメント・F・クジアク

最近では南アジアの津波に関する情報が報道で取り上げられることも、少なくなりました。そこで、被災者の生活を大きく改善させたライオンズの取り組みを、一つだけご報告しましょう。インドネシアのアチェでは過去1年間に、2500人余りの人々が570件の戸建住宅に移り住みました。その資金は、LCIFとインドネシアその他の諸国のライオンズが提供したものです。こうした支援活動には、LCIFとライオンズの貴重な教訓が生かされています。

教訓1：地域に根ざした奉仕組織は、地元の実力者との関係や現実的な視点によって被災地の具体的なニーズを明確に見極め、それを満たすための手続きも効率的に進められる。

津波災害に関する情報が世界の救援組織に届くまでの間に、ライオンズやその他の地元組織のメンバーは、トラックに水、医薬品、食料、毛布を積んで被災地に駆けつけていました。被災地には空港もなく、主要な道路も津波に押し流されていました。しかし、この地域の6万人余りの会員は、現場に到達する最善の方法を知っていたのです。

バンダアチェにはライオンズクラブが存在しませんが、近隣のメダンには数々の強力なクラブがあります。津波に襲われたある村では、すべての家々が流されてしまいました。その村長と会員の一人が昔の仕事仲間であったことから、ライオンズは即座に支援に乗り出し、この村と更に二つの村々に住宅の建設を約束しました。バンダアチェの市長は深く心を動かされ、この州都にも住宅を建設してほしいと、ライオンズに対して異例の要請を行いました。会員と政府関係者、実業家、判事その他の人々との個人的な関係は、救援活動を迅速に進める上で役立ちました。

教訓2：短期的・長期的な支援には明確な情報が不可欠である。地域に根ざした奉仕組織は詳細な情報に基づき長期の復興活動を計画・実施することが出来る。

深刻な津波被害を受けたインドネシア、スリランカ、タイ、インドでは、LCIFの資金提供によって、既に1300軒余りの住宅が建設されています。しかしこれらの家々も、地元ライオンズの情報、専門知識、努力がなければ、かくも迅速に建設されることはなかったはずです。LCIFには世界中の会員からも、即座に何百万ドルもの救援資金が寄せられました。しかし、調査、優先順位の決定、実際の救援活動を担うのは地元の会員であり、新たな住宅の建設もその一例です。

教訓3：大災害に対して多くの人々や組織が支援を提供し、特に長期間の救援活動・復興活動が必要な場合には、組織と個人はその効果を最大限に高める方法を見極めなければならない。

私たちの実力は緊急援助以上に長期的な復興支援において発揮されます。報道関係者が現地を離れ、大規模な救援組織が次の被災地へと移動してしまった後でも、ライオンズは活動を続けています。

大規模な非営利組織や政府機関の活動を補完し拡大する上で、ライオンズその他の奉仕組織は重要な役割を果たします。津波、ハリケーン、地震の経験は、その事実を浮き彫りにすることになりました。あらゆる会員がそれぞれに最善の方法で協力すれば、ライオンズは被災者支援に大きく貢献することが出来るでしょう。

新結成／合併クラブ

■新結成クラブ

福岡みなと▼結成順位／3630▼5月24日結成▼田中一誠会長▼事務局／福岡県福岡市中央区天神2・5・21（〒810・0001）TEL092・771・5781▼スポンサー／福岡鴻臚館

■合併クラブ（旧クラブ名）

埼玉県・ところざわ（所沢／所沢武蔵）

訃報

林富士郎（ライオン）（岡山県・倉敷）

6月16日死去、93歳。1958年入会。83年度336・B地区ガバナー。

ライオン誌ウェブ・マガジンがスタート

8月1日から『ライオン』誌ウェブ・マガジン(www.thelion-mag.jp)がスタートする。月刊の『ライオン』誌とは別に編集し、日本ライオンズに関する最新のニュースやクラブのアクティビティ報告の他、各種統計・資料、例会や会員増強、テール・ツイスターのアイデア集などの情報も豊富に掲載する。

会議録

5月 6月 主な議題だけをまとめました

複合地区国際大会委員長連絡会議

複合地区国際大会委員長連絡会議（小委員会）は5月25日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、Ⅰ第89回ボストン国際大会①インターナショナル・パレード、②日本ライオンズ代議員会・夕食会、Ⅱ第45回東洋・東南アジア・ライオンズ・フォーラムについて協議した。

Ⅱは事前登録締め切りは8月末日。オンライン登録可。

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第8回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は5月30日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①各連絡会議・委員会報告、②次年度への引き継ぎ事項③その他について協議した。

②はCSFⅡ、第45回OSEALフォーラム、薬物乱用防止、全日本ライオンズ合同会議（仮称）とその組織作り、国際大会代議員投票のマニュアル作り、国際大会名古屋招致について。

③はジャワ島地震被災者救援のため口座を設ける。松田毅335複合地区議長から、国際第2副会長に立候補する福井正憲元国際理事支援の要請があった。

複合地区ガバナー協議会次期議長連絡会議

複合地区ガバナー協議会次期議長連絡会議は5月31日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①次期協議会議長連絡会議関係人事、②06・07年度議長連絡会議及び国際理事候補者選挙管理委員会日程、③その他について協議した。

①は世話人に高橋祥治335複合地区次期議長、副世話人に中村保彦330複合地区次期議長を互選。

日本ライオンズ連絡事務所管理委員会会議

第6回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会会議は6月5日、パレスビルディングで開催され、①就業規則の改訂、②職員昇給、③会計報告と新年度予算書試案、④報告事項について協議した。

③は連絡事務所が立て替えている「これからの日本ライオンズの在り方を考える」の会場利用料は議長連絡会議費に振り替える旨を了承、他。

ライオン誌日本語版委員会会議

第12回ライオン誌日本語版委員会会議は6月7日、ライオン誌日本語版事務所で開催され、①05・06年度ライオン誌日本語版委員会年次報告(案)、②06・07年度ライオン誌日本語版事務所予算(案)、③6月号出来、④8月号以降台割(案)と主要記事予定、⑤ライオン誌オンライン版、⑥国際協会公式ウェブサイト日本語版、⑦オンライン報告システムServannA、⑧その他について協議した。

②は次年度事業計画(案)、創刊50周年事業計画(案)を検討。サバンナ関連費用、ウェブ・マガジン発行などのため、支出の部に新たに「IT関連費」の科目を設けて予算を組む、他。

複合地区YE委員長連絡会議

第6回複合地区YE委員長連絡会議は6月20日、日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①夏期交換、②夏期交換緊急時連絡体制の確認、③YE書籍、④YE全体の今後の問題点、⑤その他について協議した。

③は『This is YE』『日本紹介』は9月配布を予定。

④はホスト・ファミリーの不足、ユース・キャンプの有料化について、他。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

（2006年5月31日　各地区キャビネット事務局集計）

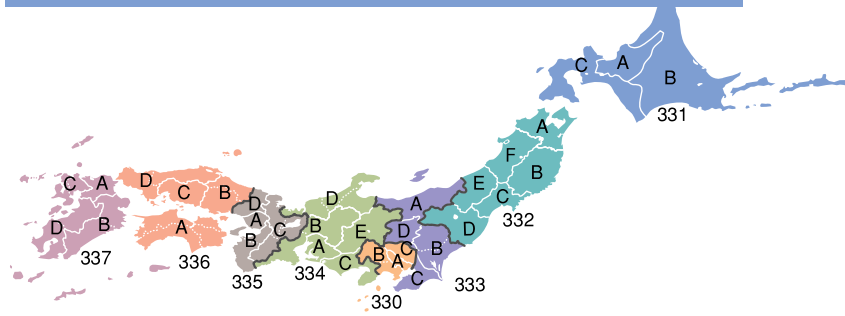
世界のライオンズ

2006.4.30.国際協会集計

		■クラブ数	■会員数	期首からの増減
ライオンズ国または領域	197	45,122	1,321,975	△433

日本のライオンズ

2006.4.30. 各キャビネット事務局集計

地区		■クラブ数	期首からの増減	■会員数	期首からの増減
330-A	東京	207	0	5,698	98
330-B	神奈川・山梨・東京	195	3	5,881	18
330-C	埼玉	108	0	3,000	13
330	計	510	3	14,579	129
331-A	北海道（道央）	77	0	2,923	△ 3
331-B	北海道（道北・道東）	100	△ 1	3,203	△ 70
331-C	北海道（道南）	63	0	2,237	△ 23
331	計	240	△ 1	8,363	△ 96
332-A	青森	69	1	2,205	24
332-B	岩手	57	0	1,958	19
332-C	宮城	83	△ 2	1,889	△ 7
332-D	福島	81	0	2,355	22
332-E	山形	56	0	2,068	△ 13
332-F	秋田	57	0	1,649	△ 48
332	計	403	△ 1	12,124	△ 3
333-A	新潟	79	△ 1	3,029	37
333-B	茨城・栃木	137	△ 1	4,458	61
333-C	千葉	129	3	3,649	98
333-D	群馬	57	2	2,254	110
333	計	402	3	13,390	306
334-A	愛知	118	1	6,145	81
334-B	岐阜・三重	88	△ 1	4,255	68
334-C	静岡	84	0	3,676	109
334-D	富山・石川・福井	98	0	4,488	49
334-E	長野	55	0	2,478	44
334	計	443	0	21,042	351
335-A	兵庫（東）	111	△ 4	3,213	5
335-B	大阪・和歌山	203	0	7,503	18
335-C	滋賀・京都・奈良	123	0	4,917	49
335-D	兵庫（西）	70	1	2,523	22
335	計	507	△ 3	18,156	94
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	156	2	6,707	78
336-B	鳥取・岡山	102	0	4,051	△ 26
336-C	広島	106	0	4,270	42
336-D	島根・山口	109	△ 1	4,020	△ 49
336	計	473	1	19,048	45
337-A	福岡・長崎	119	1	5,209	81
337-B	大分・宮崎	91	△ 2	3,071	△ 52
337-C	佐賀・長崎	83	2	3,368	105
337-D	熊本・鹿児島・沖縄	146	0	4,813	56
337	計	439	1	16,461	190
総計		3,417	3	123,163	1,016
世界のライオンズの		7.6%		9.3%	

SCENE1

伝統食材を楽しむ食味会で、奨学金資金を調達。「五城らしさ」が光る斬新な資金調達アクティビティ。

宮城県・仙台五城ライオンズクラブ
取材／本誌編集部

ありきたりの会食メニューとは食材が違う。地元宮城・河北町の長面焼きハゼ、岩手・岩泉町の安家地大根、長崎・雲仙市のエタリ（カタクチイワシの塩辛）とコブタカナ……。希少な伝統食材を駆使した料理の数々を、どのテーブルも和やかに楽しんでいる。

5月25日、仙台五城ライオンズクラブ（阿部正一会長／34人）は仙台ホテルを会場に「第3回奨学金獲得チャリティー食味会」を開いた。「絶滅寸前！　世界のおいしい伝統食材」の副題がついたこの催しは、第1部でスローフードジャパンの若生裕俊会長による講演、第2部は食味会という構成。この日のために、企画担当の浅見紀夫計画委員長とライオン中田良平は横浜で開催されたスローフードのイベントへ出かけ、食材の調達や情報収集を行った。また、ビュッフェ形式でもゆっくり楽しみながら料理を味わってもらえるように、一品ずつチケット制にするなど工夫を凝らした。チケットは6000円で、当初定員200人の予定が、260枚を売り上げた。収益の25万円は、家庭の事情などで就学が困難な高校生への奨学金に役立てられる。

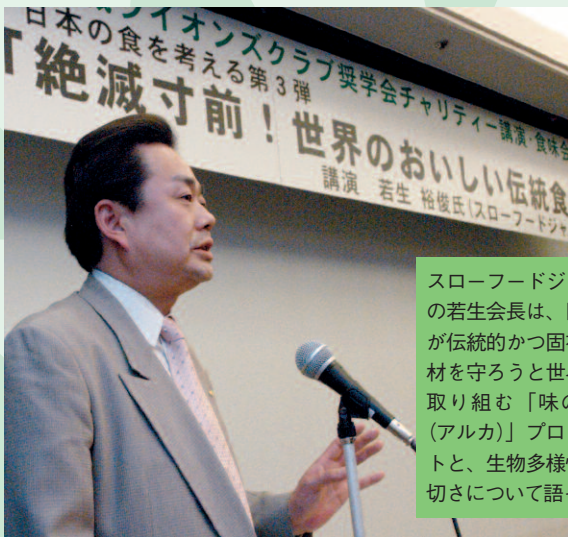
仙台五城奨学会は、1984年に結成20周年を記念して設立された。将来、社会に貢献する若者を育てようと、現在は学校長の推薦を受けた4人の高校生に奨学金を給付する。在学中3年間、毎月1万円で、返還義務はない。入学祝い金5万円、卒業記念品1万円程度の品物を贈呈するので、年間の支出は約50万円になる。基金は2000万円だが、近年は運用益もほとんど出ず、資金調達事業によって年間の給付金を賄い、少しずつ積み増ししてきた。

チャリティー食味会は今回が3回目で、第1回は農学博士の小泉武夫氏による発酵食品、第2回は向笠千恵子氏による日本の伝統食をテーマに、講演と食味会を開いた。ユニークなアイデアと高い企画力によって、資金調達だけでなく、文化事業としても充実した内容となった。

◆

クラブの活動資金をどうやって調達するか。本誌アンケート（05年9月実施）では、会員拠出で事業費全額を賄うクラブが全体の3割、80％以上を賄うクラブが6割だった。奉仕クラブだから会員が拠出するのを当然とする考えもある。また、人様の財布から出たお金を使うことに抵抗感を覚えるという声も聞く。しかし『ライオンズ必携』には、「本来は、クラブが計画し、かつ実行するア

クティビティ資金獲得事業によって作り出される資金が充てられるべき」とある。市民の賛同と資金協力を得ることは、地域に奉仕の輪を広げることにつながるはずだ。

仙台五城ライオンズクラブには10年前、一つの転機があった。会員ら12人がイリノイ州オークブルックの国際本部を訪問して例会を開き、本部スタッフからアメリカのクラブの活動について講話を聞いた。日本のクラブとの違いに驚いた。例会にも夏休みがあること、会費と食費以外に会員拠出はなく、活動資金は独自の企画で一般市民から調達すること。各クラブはお家芸とも言える資金調達事業を抱え、地域の行事として市民に認知されていると言う。

スローフードジャパンの若生会長は、同協会が伝統的かつ固有な食材を守ろうと世界的に取り組む「味の箱船（アルカ）」プロジェクトと、生物多様性の大切さについて語った

「クラブにも個性があっていい。もっと『五城らしさ』を打ち出せばいいのだと思いました。そうなれば、新会員もうちのクラブを選んで入会してくれるはず」と、本部訪問に参加したライオン浅見は話す。この経験が、その後のクラブの進路に大きな影響を与えることになった。

◆

仙台五城ライオンズクラブにはもう一つ、ユニークな資金調達事業がある。初夏を彩る仙台七夕での「シャッター押し」だ。人混みの中で記念写真を撮るのは難しい。そこで、写真撮影のベスト・ポジションにある会員経営の宝石店の前にお立ち台を置き、美しい吹き流しをバックにパチリ。謝礼として奨学金チャリティーに寄付してもらう。見物客が持参したカメラのシャッターを押すだけなので、お立ち台とメンバーの労力さえあればオッケー。ナイス・ショットが撮れるとあって、見物客にも好評だ。例年、期間中3日間で15万円余りの収益を上げる。まさにアイデアの勝利だ。

＊チャリティー食味会の模様は、ライオン誌ウェブ・マガジン（www.thelion-mag.jp）の「アクティビティの現場から」で詳しくリポートしています。

SCENE2

ゆっくり進めば、景色も楽しい。親子で走るのんびりサイクリング。

岡山県・勝央ライオンズクラブ

文／砂山幹博　写真／田中勝明

岡山県北東部、中国山脈の主峰・那岐山（なぎさん）のふもとに広がる勝央町で、今年で17回目を数える「ゆっくり走ろうサイクリング大会」が開催された。親子や地域の住民同士にサイクリングを通じてコミュニケーションを深め合い、体力づくりに役立ててもらう他、交通マナーを浸透させることを狙いに、勝央ライオンズクラブ（有国隆三会長／20人）が主催する。

5月14日午前8時、スタート地点となる工業団地の一角に、自転車に乗った親子が続々と集まり始める。たどり着くまでに既に3キロも自転車をこいで来たという元気な子どももいた。参加の受け付けを済ませた後は、出発前の自転車整備。町の自転車協会から応援に駆け付けたボランティアが、1台ずつタイヤの空気やブレーキの利きを確かめていく。

9時からの開会式では大会のルールが説明された。「指定場所を走ること」「チェックポイントを必ず通過すること」「順位の優劣をつけない」の三つがルールだ。多い時で300人の参加者が集うというが、今年は総勢195人。例年よりも少ないのは、1週間前からの天気予報が雨だったことが影響しているようだ。ところが予想を裏切り、当日は半袖でも暑いほどの快晴。9時30分、青空の下、200台近い自転車が一斉にスタートした。

全行程は10キロ少々。車で移動しても20分近く

掛かるコースである。宿場町だった当時の面影が残る風情ある通りを通ったかと思えば、左右が開けて田んぼが広がる。のどかな田園風景を眺めながら進むと、今度は登りの山道。実にバラエティーに富んだ道のりだ。大きな通りを横断するような場所には、必ず大会スタッフが立っており、道路には歩道へ自転車を誘導するよう石灰でラインが引かれてある。当日の朝にライオンたちが引いたものだ。

山を登り切ると、そこが休憩のためのチェックポイント。首に下げた参加表にチェックポイント通過のハンコを押してもらうと、缶ジュースが手渡される。ほとんどの子どもたちが、もらったそばからジュースを喉に流し込んでいた。少し休んだ後は下り坂。吹き過ぎていく風が心地よい。サツキが咲き乱れる通りを過ぎれば、ゴールはすぐ目の前だ。

有国会長は「楽しんでもらって、無事にゴールしてもらうのがいちばん」と話す一方で、「街を貫く高速道路の下などは、側道が細くなっていて特に危ない。サイクリングを通じて、こうした危険を子どもたちに気付かせるきっかけにしたい」と、交通事故予防の面も強調する。

ゴールした子どもたちは疲れ知らず。参加者全員に行き渡る各種賞品と、作りたてのカレーライスに釘付けだった。

献血協力者には、クラブから生卵1パックを贈呈した。

岐阜県・羽島（334-B）写真3

4月17日、今から252年前、徳川幕府の命で薩摩藩平田総奉行を始め80余人の薩摩義士が艱難辛苦の末、木曽三川流域の宝暦治水工事をやり遂げた。そのおかげでこの地があることを後世までも称えようと「のぼり」を作成し、薩摩義士ゆかりの場所に設置した。

静岡県・富士吉原（334-C）

5月10日、富士市内の授産所「まつぼっくり」「ふじひろみ」の2カ所の通所者を招いて早朝地引き網を行った。網入れの時間には招待者とメンバーとで海岸の清掃も併せて行った。

長野県・坂城（334-E）

5月21日、第4回子どもフェスティバルを開催した。子どもたちを中心に企画運営し、ステージ発表、体験教室、模擬店等で、いきいきとした子どもたちの姿に接することが出来た。天候にも恵まれ2,000人を超す人々が集まった。

兵庫県・伊丹猪名野（335-A）

4月19日、第2回骨髄バンク支援チャリティー・ゴルフ大会を開催した。104人もの参加者があり、大変盛大な大会となった。メンバーからはお米、ビール、花束などを出品してもらい、38万7,000円の収益金を獲得した。

和歌山県・海南（335-B）

5月23日、特別養護老人ホーム「天美苑」をプロ歌手と踊りの名人を伴って訪問した。当日はホールに95人のお年寄りの方たちが集まって楽しいひとときを過ごした。

山口県・長門（336-D）

４月23日、CSFⅡへの協賛としてチャリティー・ソシアルダンスパーティーを開催した。特設会場では県内のダンス愛好者200人が参加し、軽やかなステップにホールは熱気に包まれた。

宮崎県・えびの（337-B）写真4

「えびの市・春の地域、交通安全運動決起大会」が4月4日、えびの市役所で行われた。23団体、250人が集まった。えびのライオンズｸﾗﾌﾞでは新入学児童にランドセルカバーと連絡帳を贈呈した。

鹿児島南洲（337-D）写真5

4月29日、「第16回医師と歩こう！　チャリティーウォーク2006」に参加し、清掃活動を行った。クラブ会員事業所の従業員の方や会員家族の協力も得て、総勢82人が参加した。また、このアクティビティを記念して、桜の木を鹿児島市へ贈呈、植樹セレモニーを行った。

（投稿要領→62ﾍﾟｰｼﾞ／※サバンナからも文字原稿を投稿頂けます）

サービス・アクティビティ

1

2

東京吉祥寺（330-A）
4月8日、井の頭池の水質浄化対策に取り組む必要性をPRするために、水質浄化シンポジウムを開催した。当日は会場に入りきれないほどの聴衆が集まり、地域住民の方々の環境に対する意識の高さが感じられた。

神奈川県・厚木もみじ（330-B）
5月13日、第13回骨髄バンク・臍帯血バンク支援チャリティー・ディナー・コンサートを開催。軽快なリズムのジャズ演奏を聴きながら、楽しいひとときを過ごした。220人余りの参加者も十分満足している様子で、最後はアンコールの合唱だった。

北海道・札幌コスミックシニア（331-A）
5月28日、サッポロシニア·ライオンズクラブとの合同アクティビティとして運営している洞爺シニア農園へ出向き、悪天候の中、植え付け後のじゃがいも畑や植樹後の桜の様子を視察した。

北海道・新得（331-B）
5月8日、サクラの名所として知られる新得山自然公園の清掃奉仕に、商工会青年部と合同で汗を流した。低温と季節はずれの雪で桜の開花も遅れぎみで、神社境内はエゾムラサキツツジがちらほら。昨年より8日遅い作業になり、肌寒い早朝、枯れ枝や落ち葉を拾い集め奇麗にしたが、まだ固いサクラのつぼみにやきもきしながらの作業となった。

岩手県・金ケ崎（332-B）写真1
5月25日、環境保全の一環として、森山工業団地の道路脇のごみ拾いを行った。当日はメンバー9人が一丸となり、空き缶やペットボトルの他、タイヤなども拾い集めた。

福島信夫（332-D）
4月8日から23日の毎週土、日の計6日間を利用して「福島信夫ライオンズクラブ杯少年サッカー大会」を開催した。平成6年から始まったこの大会も今年で13回目を迎え、10チームがリーグ戦により熱戦を繰り広げた。この大会はクラブ単独のサッカー大会ではなく、子どもたちの目標であり夢でもある読売ランドへ続く、全国大会の予選となっている。

秋田グリーン（332-F）写真2
5月3、4日の2日間にわたり、「秋田グリーンライオンズカップ中学校バレーボール大会」を開催した。この事業は青少年に「スポーツを通じて健全なる育成」を掲げ継続事業として毎年開催している。今年は30校、約1,000人の参加となり、4面のコートを使い白熱した試合を繰り広げた。

新潟県・刈羽（333-A）
5月25日、例会終了後の午後1時半から4時まで刈羽村生涯学習センター「ラピカ」にて献血運動に協力した。献血は、いちばん身近な人助け。刈羽村住民に広報などで呼び掛け短い時間だったが、総勢54人の献血協力者があり、クラブ会員からも採血した。

クラブ・リポート CLUB REPORT

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は62ページをご覧ください。

332-B地区第3リジョン第2ゾーン
豊かな森へ7,750本

一関地域のライオンズクラブが一関市厳美町祭畤の国有林で進めている「豊かな森づくり」は6月4日、植栽活動を完了した。緑あふれる郷土を目指し、5月からブナやヤマザクラなどを7750本植えた。

活動に参加しているのは一関、平泉、花泉、一関中央、衣川、一関厳美渓の各ライオンズクラブ。同日は会員やボランティアら約200人がブナを植え、植栽を終えた。

6クラブ合同森づくり委員会の菅原康次委員長（一関ライオンズクラブ／ゾーン・チェアパーソン）は「地球環境が汚染されている中、地域の民間活力を生かした森づくりで、豊かな自然を残したい。一関を起点に、取り組みを全国に発信していきたい」と語った。

一関中央ライオンズクラブ（熊谷朝明会長／39人）は1997年、20周年記念事業として「豊かな森づくり基金」を創設した。今年2月には同基金を元に6クラブが資金を出し合い合同の委員会を立ち上げ、国有林2・76ヘクタールを借用した。今後は、市民ボランティアらと手入れを行う。

（『岩手日報』6月7日）

（編）万物の生命の根源である大気と水資源の源となる森。森林保護の発信基地としての森づくり委員会の活躍を期待致します。

連絡先↓0191・23・4445

茨城県・常陸大和ライオンズクラブ
薬物乱用防止キャラバン・カー

桜満開の4月8日、大和村の大和の石祭り会場に薬物乱用防止キャラバン・カーが来てくれました。常陸大和ライオンズクラブ（海老沢稔会長／28人）、下館巴ライオンズクラブ（高橋喜良会長／63人）主催、333・B地区及び第6リジョン内各クラブ後援で、大々的に啓蒙活動を行いました。

広い石祭り会場でそれぞれパンフレットやチラシを手に走り回る協和レオクラブ会員たちの姿に感動し、私自身、メンバーである誇りを感じる時間でした。結局、700人以上の方へパンフレットを手渡し、250人以上がキャラバン・カーに乗り込み、また同時に行った献眼登録への関心の高さなど、慣れない仕事の疲れも吹き飛びました。

先師の言葉に「モウコリタ」の一言があります。ライオンズの仕事はまさに「忘己利他」です。いつもいつでもは出来ませんが、事業に参加する時は持ち続けたい一言です。

（薬物乱用防止教育講師／尾見雅章）

（編）村の大イベントである石祭りでの事業実施に向け、祭りの実行委員会に何度も出席したそう。そのかいあって、多くの人々と「ダメ。ゼッタイ。」を共有出来ました。

連絡先↓0296・58・5560

岐阜県・美濃坂下ライオンズクラブ

チャーター・ナイト記念日コンサート

毎年4月の第2例会は美濃坂下ライオンズクラブ（宮内俊一会長／38人）にとってチャーター・ナイト記念例会です。平成14年には、これを記念して中学生を招待したコンサートを開催しました。ピアノ、バイオリン、チェロの演奏と、ソプラノ歌手の素晴らしい歌声は、おそらく多くの生徒たちが初めて触れる生演奏だったのではないでしょうか。皆さん大変感動していました。

このコンサートも今年で5回目。今では中学校から「今年もお願いします」と言って頂けるほどになりました。生徒たちも日頃から一生懸命取り組んでいる合唱を聞かせてくれます。それは我々にとっても大きな楽しみになっています。

殺伐とした事件の続く昨今ですが、宮内会長の「心と心 ふれあう奉仕」というスローガンの通り、今後も優しい、人を思いやる心を忘れない活動をしていきたいと思います。（幹事／横平幸司）

（編）ある年の記念行事で聴いた演奏が、あまりに素晴らしく、もっと多くの人たちに聴いてもらおうと始めたそうです。中学生にもクラブの誕生日を祝って頂けていいですね。

連絡先↓0573・75・3590

鹿児島県・入来祁答院ライオンズクラブ

ブラックバス駆除釣り大会

イラスト／篠田和夫

入来祁答院ライオンズクラブ（福元忠一会長／23人）は5月28日、景勝地・いむた池でブラックバス駆除釣り大会を開催しました。

いむた池には希少野生生物・ベッコウトンボが飛び、泥炭質の島が浮きます。ラムサール条約に登録されましたが、外来魚によって生態系が破壊されています。今回の釣り大会は全国ブラックバス防除市民ネットワークの全国一斉駆除活動の呼び掛けに呼応して開催を決定しました。

将来の自然環境保全の担い手になってほしいと、小学5、6年生を中心に参加を呼び掛け、一般の方も含めて166人に参加頂きました。釣果はブラックバス7匹、雷魚2匹、ブルーギル1018匹でした。以前はフナやモツゴなどがたくさん釣れたものですが、今は完全に外来魚の天国となっています。私たちの手で外来魚は本当の天国へ送り出さなければと思いました。

当日はバスでの送迎、昼の弁当、つり竿も用意し、子どもたちは楽しみながら環境保全の大切さを改めて学んでくれました。今後更にいむた池の生態系を取り戻す活動を企画し、継続していきたいと考えています。（環境保全委員長／坂元和夫）

（編）2005年6月に施行された外来生物法により、生態系に悪影響を及ぼすブルーギルなど13種が特定外来生物として輸入・飼養規制及び駆除の対象となりました。

連絡先↓0996・44・5959

神奈川県・横浜ふじライオンズクラブ

城下町と港町の交流の中で

みなとみらい21地区を見下ろす小高い台地の広場には、横浜開港の恩人で幕末に大老の要職にあった井伊直弼の銅像があり、横浜市民によって顕彰されている。また、西区では能とお茶という日本文化の香りを伝える「虫の音を聞く会」が、有志により催されているが、井伊大老の趣好にならったものでもある。

その縁を次世代へも引き継ごう、と井伊直愛元彦根市長の仲介で横浜ふじライオンズクラブ（石山治義会長／38人）と滋賀県・彦根ライオンズクラブ（中野幸彦会長／60人）が姉妹提携を結んだのは今から30年前のこと。

5月20日、30年の友好を記念する交流会を行うことになり、両クラブ会員が、静岡県浜松市にある井伊家の菩提寺・龍潭寺を訪問。記念行事として、彦根市から寄贈を受けた井伊家家紋である橘の幼樹を植樹した。また、龍潭寺の集会所において武藤全裕住職の講話を拝聴することが出来た。内容は井伊氏の源流にさかのぼり、大老直弼の事跡、更に人生の中で出会いがいかに大切かを説かれた。まさに私たちがクラブ活動を通して最も大切にしてきたことが、いかに意義深い行事であったかを改めて知らされる思いであった。

（姉妹提携30年実行委員長／井上経基）

（編）常世の国から持ち帰ったとされる橘を植えて、両クラブの友情も深く根を張り永遠に続くものとなりますように。

連絡先→045・321・1022

神奈川県・川崎白百合ライオンズクラブ

アクティビティ例会の開催

川崎白百合ライオンズクラブ（相原高広会長／39人）は平成16年、30周年記念事業として各種団体への活動支援基金を設立。基金には過去10年間のバザーやオークションの収益、ドネーションなどで集めた総額752万円を充て運用しています。

支援基金の対象は「環境保全」「社会福祉」「青少年健全育成」「補助犬育成」「いのちの電話の援助」「緊急災害時の支援」の6項。今年も4月6日の例会に各協力団体を招き、活動支援資金を贈呈しました。贈呈先はクラブ三役、アクティビティ委員長らによる記念事業基金委員会を開催し、消防署やPTA協議会、ボーイスカウト他、全12団体に決めました。

また、この例会は資金贈呈の場だけでなく、関係団体とコミュニケーションを図る場ともなっています。それが、クラブのPRや新会員のオリエンテーションにもつながります。関係団体の皆さんもライオンズの歴史を理解され、会員一人ひとりが自ら情熱を持って地域社会に貢献する姿に称賛の言葉も頂きました。

（アクティビティ委員長／新海和夫）

（編）例会では各団体の活動報告や苦労話などを聞き、クラブ会員の意識高揚にもなったそうです。

連絡先→044・959・1700

山形県・東根ライオンズクラブ

CSFⅡチャリティー・コンサート

花盛りの5月14日、東根ライオンズクラブ(32人)はCSFⅡの資金調達を目的に、さくらんぼタントクルセンターでチャリティー・コンサートを開催した。キャンペーン1年目ということもあり、開催までの道のりは簡単にはいかず、また周りのクラブの動きを見ながら何カ月も時間を要してしまった。しかし当日は400人もの観客が見え、大変感激した。

コンサートではポピュラー、民謡、エレキバンド、フォークソング、それに母の日とあって、地元のおばあちゃんが亡き母を思い書いた詩に曲が付けられた作品がお披露目された。観客は感動し、あちらこちらからすすり泣く声も聞こえた。

笑いあり、涙ありの大成功のコンサートであったと思う。視力ファーストへの支援金は目標額には達しなかったが、市民へのPRが出来、会員の絆が一層強くなり、やれば出来るということを知った。

当日はこの機会に会員全員で献眼登録を実施。家族やゲストからも登録の申し出があり、大変意義のあるコンサートだった。今後もウィ・サーブの精神で会員一同力を合わせ、市民に喜んで頂ける活動を行っていきたい。

(会長/工藤敏幸)

(編)工藤会長のテーマは「心一つに奉仕の和　やって気づく奉仕の喜び」。まさにテーマに沿い、またCSFⅡ元年の任を全うする事業になりました。

連絡先↓0237・41・1387

京都高野川ライオンズクラブ

左京小学生バレーボール大会

京都高野川ライオンズクラブ(山中喜久雄会長/11人)最大のアクティビティ、京都高野川ライオンズクラブ杯左京小学生バレーボール大会が3月4、5日の2日間にわたって開催されました。9回目となる今年は左京区内小学校のバレーボール部やスポーツ少年団から、過去最多の44チーム417人の児童が参加、5会場において熱戦を繰り広げました。

私たちのクラブは少人数ですが、児童の健全な育成を目指し、スポーツに汗する子どもたちの姿に感動して、この大会を応援させて頂いています。スポーツ少年団の指導者や小学校の先生方の熱心な運営でこの大会も年々盛んになってきました。

2日間の熱戦が終了し、優秀チームには山中会長から表彰状やメダル、優勝カップが渡され、参加者全員に参加賞も授与しました。

子どもたちにとって、この大会が良き思い出になり、いつかはオリンピック選手に選ばれる児童も出てくるのではないかと夢を見ます。そして負けて泣き、勝って喜びの涙を見せる子どもたちの純真な姿に疲れを忘れ、このアクティビティをして良かったなと思うのです。

来春は記念すべき第10回大会です。パンフレットの作成など準備はいろいろ大変ですが、子どもたちの喜ぶ顔を見るため、会員一丸となって成功に向け頑張ろうと思います。

(青少年健全育成委員長/鈴木正穂)

(編)子どもたちも既に来年の大会に向け燃えているはず。きっと素晴らしい大会になることでしょう。

連絡先↓075・722・0003

千葉県・関宿ライオンズクラブ

第19回観桜会

関宿ライオンズクラブ（22人）は4月9日、ライオン後藤祐亮宅の満開の桜の下、リジョン及びゾーン・チェアパーソン訪問例会と併せて、第19回観桜会を盛大に行いました。春の恒例行事で、クラブの事業をお手伝い頂いている手話サークルやボーイスカウト、障害者他、多くの関係団体と、遠く中国からの酪農研修生など250人を招いてのお花見です。

前日、全員で準備した竹コップを出し、ライオン・レディーやボランティアの手を借りながら山のように焼かれた焼きそばや、焼き鳥、モツの煮込み、そば、うどんを配っていきます。また、研修生たちも仲間に入っての餅つき。初めての経験なのか大変喜んでもらえました。次々つき上がる餅の上、食べ物の上、皆の上にも花吹雪が舞います。舞台では雲龍太鼓の音が鳴り響いています。

花の中で、小、中学生のひょっとこが踊りまくり、それを見て老人クラブの皆さんは大喜び。そして次から次へと手踊りや民謡、研修生の合唱などと続き、最後に手話コーラス。参加者全員が手話を教えてもらい、大合唱となりました。また来年も同じ場所で元気に再会することを誓い合い、春の楽しい一日が終わりました。

（会長／佐藤八郎）

（編）花吹雪と太鼓の音と踊り、そして笑いさざめく人々。なんだか夢の中のようなお花見ですね。竹のコップがまた風流な。

連絡先→04・7120・4900

宮崎県・都城ライオンズクラブ

45年の節目「初心を胸に共に奉仕」

都城ライオンズクラブ（徳丸祐七会長／54人）は今年で結成45周年。いろいろと意見はありましたが、大々的な式典などは行わず、勤労奉仕活動に徹することにしました。節目として我がクラブの継続事業関係役員へ気持ちを込めて感謝状と記念品を贈り、記念例会をそれらの役員、及び都城ライオネスクラブ、都城レオクラブの会員と共に約120人で行いました。

奉仕活動としては、まず昨年9月17日、「3世代間交流・子ども交通安全大会」を市、警察、交通安全協会の協力で行いました。子どもを交通事故で亡くされた方の講演や、交通安全講習会などを通じて、子ども、父母、祖父母ら約1千人の市民に命の尊さを訴えました。

また4月26日には、朝6時から姉妹提携の末吉ライオンズクラブ（脇通吉会長／27人）と合同で都城西駅前広場の草刈や清掃を行いました。

CSFⅡのモデルクラブ登録も大きな出来事の一つとなりました。他にも観光名所の清掃や少年野球大会の開催、留学生交流会、災害見舞金、献血・献眼活動も実施しました。

今年は年次大会でのアワードは一つもなく、寂しい年になってしまいましたが、45年の節目として「初心を胸に共に奉仕」の下、1年を通して真のボランティア活動が出来たことを心からうれしく思います。

（幹事／竹森兼富）

（編）式典よりも奉仕の原点を見つめ直した45周年企画に拍手。地域に密着し、同時に国際的奉仕組織の一員としてがんばってください。

連絡先→0986・22・1721

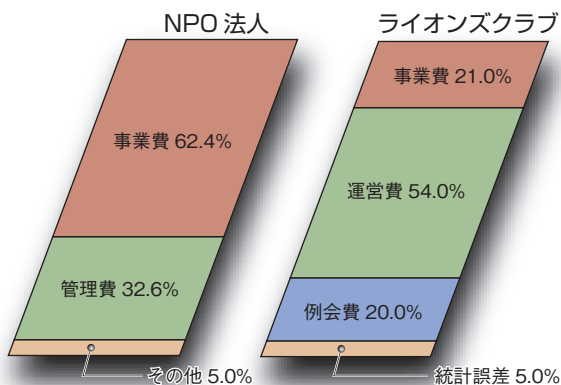
競争時代を迎えたボランティア活動⑧ ライオンズクラブと市民団体の挑戦

共益的団体よりも公益的団体へ

■坂本信雄（京都府・亀岡保津川クラブ）
京都学園大学経営学部事業構想学科教授

言うまでもなく共益とはメンバーの共通の利益のことであり、公益とは辞書にもあるように社会一般の利益のことである。共益の具体的な組織は同好会や同窓会、後援会など会員同士の互いの利益促進を目指すのに対して、公益の組織は個人の私益や共益を超えた不特定多数の利益促進を目指す団体になる。その具体的な範囲を巡っては関係の学会でも論議されてきているが、ボランティア活動もそれに含まれることは確かである。

共益活動が全く公益活動に結びつかないわけではない。常識的にも、地域のテニスクラブやさまざまなサークル活動が活発な地域は、そうでない地域よりも住民が元気であるさまがうかがえると思う。イタリア出身の経済学者ロバート・パットナム教授は同国の南北格差が大きいのはなぜなのかを調べたところ、ローマを含む北の地域では読書会やサッカークラブ、更には奉仕活動などが活発であり、これが地域経済の活力に結びついていることを実証した。

日本の公益法人でも、かつてこの種の共益活動を担う団体を認可したことがあった。1998年に制定されたNPO法では、共益活動が従たる活動であれば認証される仕組みになっている。つまり、メンバーの親睦や互助的な活動が本来の目的を円滑に遂行するのに役立っていることは容易に想像出来る。問題はそれがどの程度かということになる。

イラスト／藤英毅

図に見るように、ライオン誌日本語版事務所が調査した結果（2005年9月～10月に実施、回答率45.0%=1,538クラブ）によると、クラブの年間予算に占める事業費の平均値は21%台であり、同時期にNPO法人（2,344法人）を対象に経済産業省が実施した団体の支出総額に占める事業費の平均値69%弱をかなり下回っている。なお、図ではライオンズと対応させるために収支規模100万円以上500万円未満の456法人の事業費割合62%台を掲載してある。法人格がない草の根市民団体も含めた内閣府の市民活動団体等基本調査の結果になると、事業費の割合は80%台になっている。ライオンズは平均的には運営費に5割余りを掛けている他、例会費も20%近くであり、それだけ事業費の割合が低くなっているのだ。

多くのクラブでは、会員相互の親睦的な活動に時間もお金も少なからず充当しているものと思われる。低い事業費の割合は、クラブ運営が効率的に行われているかどうかだけでなく、もしかして主たる活動である本来活動よりも、従たる活動である親睦や互助的な活動にウエートを置いているかもしれないという懸念を抱かせる。このことは、仮に今後、ライオンズクラブがNPO法人などの法人格を取得しようとする場合には、行政庁の認証審査を巡って論点になるかもしれない。これについてはいずれこの連載で取り上げたいと思っている。

ボクの見てきた160カ国

●第8回（イタリア）8千体のミイラに囲まれて

厚沢弘陳（あつざわひろのぶ）
（東京関東ライオンズクラブ）

もうずいぶん前に、シチリア島でコンタクトレンズの国際会議が開かれたことがあったが、たまたまボクは所用のため参加出来なかったので、いつかは行ってみたいと思っていた。それが今回やっと実現したというわけだ。

ボクと家内はシチリアのパレルモから入り、島の各地を回ってタオルミナから帰国するというルートを取った。

まずはパレルモの中心部にあるパラティーナ礼拝堂を見学する予定だったが、行ってみると長い行列が続いていて、入れるまで2時間は掛かるとのことだった。そこでボクらは予定を変更して、並んだ場所を前の人に取っておいてくれるよう頼んで、タクシーを飛ばし、カプチン派のカタコンベ（Catacombe dei Cappuchini）に行ってみることにした。

ここは以前、本で読んだことがあるので、機会があったら一度訪れてみたいと思っていた所なのだ。それほど有名なのに、なぜか主な観光コースに入っていない。だからタクシーを降りて入り口まで行ってみたが、ほとんど人影が見当たらない。先程の礼拝堂の混み方とはまさに対照的だった。

ここは市の外れにある修道院の地下墓地で、17世紀からの修道士や市民のミイラが8千体も安置されているのだ。81年まで、聖人のそばにいたいと考えていた人々を受け入れた結果、数多くの遺体がミイラとして処理され、保存されることになったと言う。

おびただしい数のミイラが眠る地下墓地

誰も居ない、ひんやりとした地下に降りて行くと、そこには本当におびただしい数のミイラが並べられている。その多くは衣服を身に付けて立っているので、一層気味が悪い。中には白骨化して、首が落ちそうになっているのもあったりして、スリル満点だ。

また、見学の最後に見られるのが、将軍の娘だったという2歳のロザリア・ロンバルトの遺体だ。これは１９２０年以来、遺体衛生保全処理（Enbalming）をした姿で展示され、まるで生きているように見える。ボクらは以前、南米コロンビアのホテルに本物のミイラが置かれているのを見て、ビックリしたことがあったが、ここもパレルモの乾燥した大地が、これら多くの遺体を腐らせることなく現在に至るまで保存し続けているのだと思った。

そして再び前の礼拝堂に戻って来た。長い行列の中で、場所を頼んでおいた所は、もう入り口の近くまで進んでいて、すぐ入場することが出来た。限られた時間をうまく使って行動出来たことに満足した一日だった。

こうして、見学を終え外に出ると、快い微風が吹き抜けて、街のあちこちに植えられているマルガリータの花が強い日差しを受けて、こぼれるように咲いていた。

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

題字／大上 泰治（福岡県・飯塚竜王）（投稿要領→62ページ）

ライオンズ、楽しんでます

ボブホン 柿本（福岡大名）

私は、2005年7月に福岡大名ライオンズクラブのメンバーとなったばかりの子ライオンで、名前はボブホン柿本と言います。

実はこの名前、仕事上の芸名です。

無理を言ってライオンズクラブの会員証もこの名前で登録したい、と申し出ました。すると、すんなり通ってしまい「思っていたよりも柔軟なクラブなんだな」と感じています。良い先輩方にも恵まれ、気負うことなくのんびりと「大人のクラブ活動」を楽しんでいます。その一端をここで紹介したいと思います。

当初私は、ライオンズクラブがどういった団体で、何をしているか、詳しく知りませんでした。ある日、

「献血運動をします！」

と聞いたので、私は自分が献血をするのだと思い、はりきって朝早く現地に出向いて、真っ先に献血するために上着を脱ぎ、O型の血液を400ミリリットル提供しました。

しかし、諸先輩方は、

「献血お願いします！」

と声を張り上げているではありませんか。ああ、なんだ、献血するのではなく、献血協力を呼び掛けることが目的だったのか、と大きな勘違いをしたのが、私の記念すべき最初のアクティビティでした。

こんなこともありました。ガバナー公式訪問例会での合同入会式において、司会者がクラブの紹介をした時、メンバー全員が「おいさ！」と答えていたので、ああ、さすが山笠で有名な我が福岡だ。掛け声はここでも「おいさ！」なんだなと感心していました。

ところが後日、あれは「ウィ・サーブ！」だったことが判明。私はあの時「おいさ！」と答えていました。ああ、また勘違い！ でも、勘違いも楽しく感じています。

月2回の例会は、ためになるお話もさることながら、おいしい食事も楽しみです。いつも携帯電話のカメラ機能で撮影して、妻にコメントつきで送信しています。

「いいわね、あなたはいつも楽しそうで」と、よく言われます。

また、4歳の息子に神聖なるライオンズの帽子を被せて「カレー屋さんごっこ」をしているのは、さすがに秘密にしておいた方がよかったでしょうか……。

「ライオンズクラブという奉仕団体に入りませんか?」

そう誘われて実際入ってみて、まだ何だかよく分らないことだらけですが、徐々に世の中のお役に立てるような人間になれたらと思います。楽しい先輩たちにいろいろ教わりながら。

（ソフトウェア業・38歳）

父と私とライオンズ

堤　理恵（兵庫県・神戸湊川・家族）

私は現在28歳になり、アメリカに住んでいる。

父は、娘がもう家庭人だというのに、相変わらず子離れ出来ず、溺愛してくれる。悪気のない父に文句は言えず、しかし、そのおかげでホームシックにならないのか、とも思っている。

ある日、父からの国際電話を取る。いい報告なのか、そうでないのか、すぐ分かる喜怒哀楽のはっきりした声。が、今回は、そのどちらでもなく、ライオンズクラブ関係の話だった。

レオを卒業してもう6年。久々にライオンズクラブやレオクラブの仲間や活動のことを思い出した。

父が私をレオクラブに連れて行ったのは、中学校1年生の春休み。あの頃は「神戸ジュニアセントラル・レオクラ」なんていうものがあり、実際の活動は、神戸セントラル・レオクラの大学生、社会人が中心で、私は児童育成キャンプに来る子どもと同じ年齢だった。おかげで少し大人の仲間入りをしたような気がした（でも、みんなからは当然子ども扱いだったが……）。

私がレオクラブという組織を楽しみだしたのは、高校3年生の頃からだ。今思えば一般の人にはなじめないような不思議な儀式にも抵抗なく参加し、どんどん仲間が増えることが楽しかった。地区幹事や自クラブの会長も務め、いつの間にか、年上のメンバーさえ身近になって一緒に動ける仲間になった。

私にリーダーが向いているかは疑問だが、その人なりのリーダーシップというものは適度に身につけさせてもらったと思う。とりわけ、地区行事は楽しかった。チャリティー・バザーや、その資金を使ってのリーダーシップ研修。ライオンズクラブとの会食さえも、就職してから役立ったという友達も少なくない。

カリフォルニアで暮らし始めて1年が過ぎた。ここでもライオンズクラブのマークは健在だ。ライオンズクラブのことをよく知らない夫でも、「こんな『OK牧場の決闘』（ワイアット・アープとドク・ホリディの西部劇）の場にもライオンズ・マークや。お父さんに写真送ってあげたら?」なんて言う。

長い間、レオクラブでお世話になったものの、私はライオンズのことはいまだに分からないことも多い。それでも、父にとっては居心地のいい場所であり、私にとってはたくさんの経験をさせてくれ、自分を成長させてくれた場であることに変わりない。

私は父とよく似ている。少なくともこのライオンズクラブ、レオクラブという組織になじんだという点で。そして人が好きだという点で。みんな個性的で楽しい。

父は、先々、我が娘・あめりを家族例会に連れて行きたいらしい。いくら父の夢でも、願いでも、それは私と夫とで相談することにしよう。そんな父の大好きな神戸湊川ライオンズクラのご発展を私も陰ながらお祈りしています。

（元レオ会員・28歳）

タイムトラベル

秋山　正晴（岡山県・倉敷阿知）

最近、タイムトラベルを扱った映画をテレビで見ました。大惨事の現場を見物する未来の体験ツアーを巡るSFサスペンスでした。

未来にも変な人はいるもので、大金を払っても、タイムトラベルをして悲惨な現場を見たい人がいるようです。物見高いは人の常、あなたもベズビオ火山や、タイタニック号の沈没現場に興味を持ったことはありませんか？

私は、人が死ぬのは見たくはありませんが、川中島や関ケ原の戦場にはぜひ武将として臨場したいと思います。

トラベルという言葉の語源は、トラブルなのだそうです。昔、旅に出ることは命がけで、日本では水杯をして別れの儀式をしたり、西洋ではおいはぎが多く、最も危険なものだったからでしょうか。

それにしても日本人は旅が好きで、西行法師や芭蕉のような風流なものから、江戸時代の長屋の弥次さん喜多さんのお伊勢参りまで多くの人々が楽しみにしていたそうです。今では、1300万人が海外へ旅行しており、国内を合わせれば、子どもと病人以外は、年1度以上旅行をしているのではないかと思います。

旅行の目的は人それぞれで、食べ物・カメラ・絵画・音楽等の趣味から、観光や癒やしまでいろいろとありますが、大金と不自由さと言葉の壁と待ち時間の長さと寿司詰めの苦痛と盗難や生命の危険（事故）を冒しながらも、皆喜んで行っています。

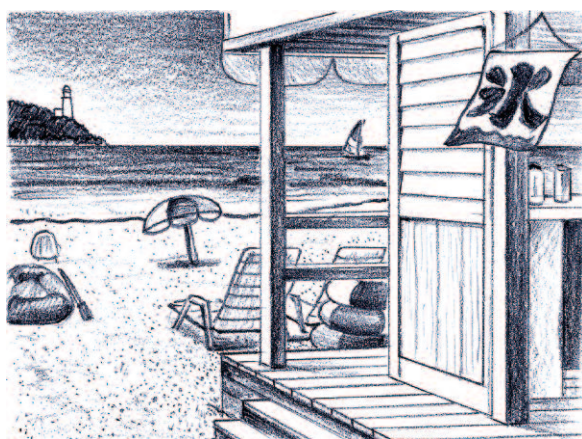
私が旅行したいと思うのは、昔学校で習ったり暗記した、カタカナの名前や歴史の遺物を、文章や写真で見るだけでなく、現場で直接見たり、実体験したいという気持ちからです。

私は、小学生の頃から戦国武将の伝記に興味があって、よく本を読んできました。当初は、日本のものばかりでしたが、秋山兄弟が活躍する日露戦争の本『坂の上の雲』をきっかけに、ロシア、ヨーロッパや、チンギス・ハーン、トルコ・ギリシャ・エジプト・文明発祥のシュメール、これ関連するインド、シルクロードによる文明の交流、旧約・新約聖書やマホメット等の宗教、シーザーのローマ帝国と際限なく広がっていきました。

高校の倫理哲学の先生が、こんなことを教えてくださいました。

「人間の一生は短く、ごく限られたものだが、昔の人の教えや伝記を読むと、その人の人生を自分のものとすることが出来、ソクラテスにもナポレオンにもなれる。勉強しなさい。人類永遠の謎である『人は何のために生まれどこへ行くのか』の手掛かりとなり、自分の人生の目的を探す手助けになります」

確かに、何人もの伝記を読むと私もその人たちと通ずる経験をしたつもりになり、何人分もの人生を歩んできたような気がします。

例えば、ロシアの赤の広場でスターリンに

イラスト／小川和政

代わって軍隊の行進に向かって手を上げる自分を妄想するにはやはり赤の広場を見ないことには出来ることではありません。広場の一角には、処刑場の高台もありました。兵士は何を考えながら行進したのでしょうか。彼の軍の粛清は数十万人とも言われており、兵士の3分の1は処刑またはシベリア送りとなったとも言われています。

　これこそが、タイムトラベル。飛行機や電車というタイムマシンに乗って、違う時代の異なる文化の異民族の住む地へ、いわば異次元世界へ旅することがタイムトラベルの定義ですから。

　今は数十、百億円で宇宙旅行へ行ける時代となりました。でも、まだ高くて手が届きません。しかし、10万円あれば、万里の長城へ（3000年も昔からある場所へ）タイムスリップ出来ます。何と素晴らしい時空軸変換旅行でしょう。

　考えてみれば、私たちが、日常という現在を過去・未来の流れの中で生活していること（＝生きていること）自体が、タイムトラベル中であり、その流れの中で喜怒哀楽の感情が記憶（思い出）として残され、それが「人生」というものになるのでしょう。

（税理士・58歳）

心からの手紙

枇杷田　庸雄（愛媛県・宇和島）

2月25日、宇和島市のサブライムホールで、第6回留学生スピーチ・コンテストが開催されました。愛媛女子短期大学が主催しているもので、県内の大学へ通う留学生が参加しています。宇和島ライオンズクラブでは毎年、主催者から招待を受け、会員がスピーチを聴きに行っており、今年もライオン清家元徳、ライオン諸江啓次郎、ライオン尾上雅秋と、会長の私が出席しました。

　当日は中国・フィリピン・韓国の3カ国の学生計9人が競い合い、それぞれ流暢な日本語で熱弁を振るいました。その中で大賞には、中国からの留学生ソン・テイさん（愛媛女子短期大学2年）の「心からの手紙」が選ばれました。

　私は、そのスピーチに大変感銘を受けました。全国の会員の皆さんにも、ぜひ紹介させて頂きたいと思います。

（防災無線保守業・64歳）

◆

拝啓　だんだん暖かくなりましたね。皆さんお元気ですか?

聞こえますか、時計の針の音。チクタク、チクタク……1年、2年。

「もしもし。あんた、日本にいるの?　どこ?　東京、大阪?　すごいね……」

「うん、そうやね、日本にいるよ!　大阪に。もちろんすごいよ!」

「うらやましいなあ!」

　これは、日本に来たばかりの私が中国の友達に電話した時の会話です。この時の私は、誰よりも後悔していました。

　なぜかと言うと、周りは山ばかりで、想像していた都会の建物は一つもありませんでした。「まさか!　ここが日本?」と信じられず、宇和島に来たことを恥ずかしく思い、中国の友達には話せなかったのです。

　私は心の中でよくこんな質問をしていました。「もし、もう1度留学の道を選べるなら、また日本を選びますか?」と。

　この2年間、私はよく電話で東京や大阪にいる中国人の友達から日本での生活の辛さ、日本人の冷たさ、日本人が中国人を差別したり、あざ笑ったりするなどの話を聞いてきました。そのうちにだんだん腹が立ってきて、

「そうやね、日本人は冷たいなあ。日本人は悪いよね」

　と、友達に返事していました。

　この話を先生に話したところ、怒られまし

た。
「あなた！　自分は宇和島にいる2年間で差別されたことがありますか？　日本人の冷たさを感じたことはありますか？」
「えっと、えっと……」
　私は何も言えませんでした。しかし、心の中では、
「いいえ！　私は間違っていません。日本人は中国人を差別しています。私は日本人が嫌いです」
　と、何回も何回も言っていました。
「うん！　そうだ！　私の日記には、この2年間の気持ちが書いてあります。私は嘘をついていないです」
　と、日記のことを思い出し、開いてみると……。
「2004年4月7日　今朝バイトに行く途中で事故に遭いました。その時、見知らぬ日本人からバンソウコウをもらいました」
「2004年7月22日　バイト先でお客さんのビールをこぼしてしまいました。怒られると思っていたら、ママさんは『大丈夫？　けがはない？』と、まず私のことを心配してくれました」
「2004年11月5日　先輩と一緒に、篠崎ママの家へ行きました。ママは優しくて、私たちにおいしい中華料理をたくさんご馳走してくれました」
「2004年12月13日　今日は友達と一緒に藤田さんの家へ行きました。私たちのために抹茶をたててくれ、おいしいお菓子も出してくれました」
「2005年3月29日　今日はアルバイト先でひどい熱を出しました。鳥勢のマスターに電話をしたら、車ですぐ迎えに来てくれました」
「2005年12月16日　大学のことで丸忠のマスターは何も言わずに私の保証人になってくれました」

「2005年12月30日　今日、丸忠のママからお年玉をもらいました」
　……日記を閉じると思わず涙がこぼれました。
「すみません、すみません」。私は、昔の歴史ばかり考えて、そして友達の話に感化されて、いつの間にか目の前のことを信じなくなり、日本人の温かい心を否定していました。それに気づいてから、私は日本人に対する考え方が変わりました。
　だから今の私は、
「もし、もう1度留学先を選べるなら、私はまた日本を選びます。そしてまた、宇和島を選びます」
　と、答えます。
　これからの私は、10年後、20年後……50年後も、日中関係が必ずよくなるように、1億3000万の日本人、また14億の中国人の一人ひとりに、私が感じ取った経験を伝えていきたいと思います。そして、私はそれを信じて生きていきます。これから、ずっと、ずっと、ずっと……。
　まだまだ、日中関係は厳しいと思いますが、日本人の皆様、中国人の皆様の幸せを心よりお祈りしております。敬具

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

霊廟へ千段の磴仏法僧

（愛知県・南知多）内田　白花

（評）「鳳来寺山」の前書がある。標高六八四メートル、愛知県の南設楽（したら）・北設楽両郡にまたがる旧火山群の最高峰。鳳来寺は真言宗五智教団、山号煙巌山、本尊薬師如来。大宝二（七〇二）年、利修仙人の創建と伝える。源頼朝が堂宇を新築し、鎮護国家の道場となり、江戸時代には徳川家光が諸堂宇の建て替えを発願、四年後に完成した。鬱蒼とした杉と檜の間を表参道の石段が千四百二十五段続く。「木枯らしに岩吹（ふき）とがる杉間かな」の芭蕉句碑がある。仏法僧（木葉梟（このはずく））で名高い。

化野の風さんざめく今年竹

（大阪夕陽丘）角野桂治郎

（評）化野は京都市右京区嵯峨鳥居本化野町。小倉山東麓一帯は東の鳥辺野（とりのべ）とともに古くより風葬地として知られる。念仏寺は弘法大師が死者の菩提を弔うために五智如来寺を創建したのに始まるという。境内を埋める約八千もの石仏・石塔は室町時代頃のものが多く、付近の土中から発掘されたものである。風に今年竹がさんざめいている。

（投稿要領→62ページ）

【入選】▼

紅顔もいつしか傘寿冷酒乾（ほ）す
（東京御茶の水）栗原保之助

十薬を採る妻十薬の香の匂ふ
（愛知県・高浜）岩月　三則

山車（だし）の灯の川面に揺るる宵祭
（岐阜県・大垣東）大橋庄一郎

老鶯に翁を偲ぶ庵ゆかし
（三重県・伊賀上野）豊岡はつ子

病（やまひ）との出合ひも縁（えにし）老の春
（静岡県・三ケ日）足立　貞男

水郷の鳰の浮巣に櫓の軋り
（福井県・敦賀）山本　麓潮

作り滝存分に水落しをり
（兵庫県・西脇）高瀬　博子

二上山の入日と果つる練供養
（大阪カトレア）吉村美穂子

初音聞く小楠公の墓訪ひて
（大阪プラム）竹田　房子

奥千本残花楽しむ人のあり
（大阪夕陽丘）中村　豊彦

箱根路の遅き桜に春惜しむ
（大阪夕陽丘）田中　一栄

芒種の田逆さに映す近江富士
（大阪府・東大阪）木村　稔

一合の酒分けあひて初鰹
（大阪府・池田）池内　彰

石楠花の咲き溢れをり多宝塔
（和歌山県・伊都高野山）慈幸　千寿

奥比叡風駆け抜くる余花の径
（京都醍醐）國松倭都子

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

見てしまへばその時々を語り出す捨てむと決めし家具も着物も
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

（評）家の中の整理を思いたち、あれもこれも不要のものを捨てようと決める。ところが、「見てしまへば」、この初句が効いた。捨てようと決めたものを、じっと見てしまうと、不思議に愛着が湧いてくる。家具も着物も、「その時々を語り出す」、それに纏わる想い出を語りかけてくるようだ。まことに日常的な、現実的な素材であり、ややもすれば散文化するところだ。微妙な心理を、うまく表現にのせて作品化している。
今号は、加藤、高橋、松本氏の作品にも注目した。

（投稿要領→62ページ）

【入選】▼

開拓の鍬を拒みし原生林熊笹茂り風ばかり鳴る
（北海道・訓子府）吉野　良子

さかだちて馬酔木の花の蜜を吸ふ今朝くる蝶に時がくづれる
（青森まほろば）加藤　捷三

景色よき回り道避け散歩にも直線選びき戦中派の父
（青森県・弘前チェリー）高橋　修一

ライオンズ世界大会へ旅立つ日息子は差出すアメリカ紙幣を
（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

献血に応ずる齢のはや過ぎて街角に立ち若きらに勧む
（新潟八千代）荻島　俊雄

優雅なる名前をもちてそれぞれに被写体となれる花菖蒲の園
（神奈川県・小田原）清水　幾代

終の家老いたる二人静かなり今日は介護の若き声する
（岐阜県・大垣水都）小玉　啓一

金婚を讃えているよ藤の花愛の絆に紫映えて
（兵庫県・和田山）北垣　正幸

水道の栓をひねれば迸る水に偲ばむはるか被災地
（徳島県・鴨島）乾　忠義

右ひだり悩めるものの如くにも蛍は飛べり尻光らせて
（大分県・中津沖代）松本　達雄

柳壇

■選者　大木俊秀

【特選】

助け舟節目ふしめに母が居る　（青森県・五所川原）坂本　憲昭

（評）「母」を詠んだ句は昔から多い。有名な古川柳に「母おやハもったいないがだましよい」（柳多留初編）がある。平成十五年十一月に発行された『新・類題別・番傘川柳一万句集』では「母」の項に百七十句がおさめられ、「父」の部の百五句に圧倒的な差をつける。母は強い。人生の節目節目にかならず存在して物心ともに支えてくれたのは、私も、母であった。

負けたとは言わず妥協を置いて来る　（新潟県・五泉）金子　昭三

（評）自分の敗北を認めていさぎよく発することばが、「負けました」である。ところが、世渡り上、体面上、それが素直に言えないときがある。特に男の場合は、意地があり面子がある。ことばを濁して、妥協という負債を負いながらその場は引き下がる。「完敗です」と爽やかに言えたら、どんなに楽だろう。

（投稿要領→62ページ）

【入選】▼

漁火を消すと人恋う舟になる　（青森県・弘前中央）高橋　敬

それもよし再婚の友いきいきと　（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

婆さんの煮豆の顔に皺がない　（岩手県・藤沢岩手）及川　平一

傘持てという予報士に母想う　（新潟県・五泉）佐藤　隆吾

武士道を教えるひとがもういない　（栃木県・西那須野）佐藤　嗣人

天罰かキャベツイワシが高値張る　（千葉県・船橋シニア）小嶋　廣次

ボランティア流した汗が陽に光り　（千葉県・船橋シニア）灘山　徳治

かろやかにGパンこなす妻は古希　（千葉県・多古）髙岡　信喜

目が合えば笑顔を返す村の道　（千葉県・東庄）藤﨑　久男

雨が好き迎えの母はもっと好き　（静岡県・大仁）山本　順平

今朝もまた平行に置く箸二膳　（兵庫県・宝塚グリーン）中島　弘風

八起きする余力まだまだ古希半ば　（京都鴨川）栩谷　四朗

おとしより診ていた名医先に逝く　（奈良）沢井　陽一

いい声にならぬものかと飴なめる　（鳥取県・倉吉打吹）井上　龍翁

その先は言わぬ男の向こう傷　（宮崎橋）黒木せつよ

MY BEST SHOT

選：河相正名（日本写真家協会会員）

畔柳東一
愛知県岡崎竜城
[田植え前]

●選評
能登千枚田、田植え前のひととき。海岸線近くまでせり出した地面に2、3人しか入れない小さな田がビッシリと並ぶ狭小日本の典型的な棚田風景。奇麗に整備された田んぼに水が入り、点景に入れた人物が春ののどかさを演出している。見事な棚田の造形美とらえた、今も残る日本の原風景である。

木村文丸　青森県弘前
[イカ干し]

藤根秀夫　愛知県豊田
[集合時間まで一休み]

松下正治　大阪梅田新道
[錦流の滝]

高山勇　和歌山県富田川
[白い山々]

入選

横内孟　山梨県南アルプス［古刹の桜］
菊地洋三　青森県田舎館［夜の舞］
荻島俊雄　新潟県八千代［ヴァザーリーの回廊］
安藤正一　愛知県豊田［なまはげと問答］
梅田尊　愛知県豊田［時の流れ］
成瀬正幸　愛知県豊田［老桜］
山田武夫　愛知県名古屋樟［夫婦愛寄せ波（恋人岬）］
高橋秀通　愛知県東浦［新緑の奏で］
植田久美子　静岡県裾野［裏磐梯の新緑］
吉野耕司　京都府宮津［響け城下へ］
菊野善之助　愛媛県松山ホスト［カマキリ誕生］
山野智要之亮　広島あさひ［夕景］
上野春夫　広島県三原［花田植］

全作品は国際協会公式ウェブサイトでご覧頂けます。　http://www.lionsclubs.org/JA/TheLion/MBS/index.html

LIONS GALLERY

「県境へ続く道」油彩F50号

去年、秋の県美展で大分県美術協会賞を受賞した作品です。高原の静かな暮れ時、県境へと続く峠路の風景です。

誰にも習わず自己流で油絵を描き始めて25年。以来、市美協、県美協、蒼騎会の会員に推挙されましたが、

徳田和彦
大分県・中津ライオンズクラブ
蒼騎会会員

いまだ自分でも納得のいくところまで届かず、「前途、なお遠し」というところです。

まだまだこれからだという気力を持って、クラブの活動と共に頑張りたいと思っています。

（とくだ かずひこ・77歳）

訂正とお詫び

本誌7月号において以下のような誤りがありました。

10ページからの「2006・07年度地区ガバナー紹介」のうち、337・B地区ガバナーライオン野村興吉（15ページ）の年齢は73歳の誤りでした。

20ページ「ライオンズ・ニュース・カセット／訃報」のライオン安藤純次の逝去日は5月11日の誤りでした。

23ページ「第45回OSEALフォーラム日程（予定）」の中で、レディース・プログラム、セミナー／パネル・ディスカッション、国際理事候補者（日本）レセプション、閉会式の会場となっているシティ・ビュー・ホテルはシティ・ベイビュー・ホテルの誤りでした。

40ページ「トピックス3」の記事で、取手大利根ライオネスクラブは取手ライオネスクラブの誤りでした。

61ページ「ライオンズ・ギャラリー」のライオン高橋忠夫はライオン高橋忠男の誤りでした。

63ページ「リーダース・プラザ／読者から」の投稿者ライオン長谷川一平はライオン長谷一平の誤りでした。

関係各位にご迷惑をお掛けしたことをお詫びし、訂正致します。

ライオン誌事務所来訪者芳名録

日付	クラブ	氏名
5 30	東京渋谷	岡野 弘志
6 5	千葉県松戸ユーカリ	福澤 良夫
6 5	千葉県浦安中央	杉山 民生
6 7	東京愛宕山	中雄 政幸
6 7	神奈川県藤沢湘南	矢部 祥榮
6 9	茨城県日立中央	鈴木 正二
6 9	茨城県日立中央	白土 照男
6 19	福岡県北九州戸畑	荒井 利一
6 22	山口県徳山	秋本 啓輔
6 22	東京恵比寿	荘 英隆
6 22	神奈川県横浜みなとマリン	小柴 登司
6 23	福岡県宗像	張 晶
6 23	東京駿河台	芦沢 真
6 27	東京早稲田	平野 増生
6 27	東京早稲田	吉澤 隆志
6 27	東京早稲田	後閑 憲信
6 27	東京日本橋	屋代 誠一

■SightFirst Updateクイズ（34ページ）解答

1. ……………………d：2,500万人
2. ……………………b：河川失明症
3. ……………………b：誤
4. ……………………a：正
5. ……………………d：80%
6. ……………………a：1分ごと
7. ……………………d：30カ国
8. ……………………a：正
9. ……………………b：河川失明症
10. …………………d：4,500人

ライオン誌投稿要領

▼応募資格に特に記載のない場合は、ライオンズ、ライオネス、レオクラブ及びその会員と家族。
▼締切の記入のないコラムは随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合があります。原則として原稿の返却はいたしません。
▼Eメール投稿は、文字原稿及び写真データ（長辺1,600ピクセル程度／JPEG最高画質）。
▼いずれも住所、氏名、クラブ名を明記。

■「こころのチキンスープ・ライオンズ編」7月号28〜29ページ
●ライオンズにまつわる感動的なエピソードの概略、あるいは1,200〜2,000字程度の原稿。ストーリーは本誌ライターが書き下ろします。

■「サービス・アクティビティ」42〜43ページ
●活動日、場所、100文字程度の説明文を付記。写真はプリント（サービス判くらい）及びデータで、動きのあるもの、内容が一目で分かるもの。
●ServannAの「ライオン誌投稿」欄もご利用頂けます。

■「クラブ・リポート」44〜48ページ
●アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。新聞記事は新聞名、掲載日を付記。関連写真があれば添付。

■「獅子吼」52〜56ページ
●会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。職種、年齢を明記。
●題字はハガキ程度の大きさ。

■「俳壇」「歌壇」「柳壇」57〜59ページ
●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切：毎月15日。

■「MY BEST SHOT」60ページ
●会員及びその家族でアマチュア。
●応募作品：題材は自由。プリント（サービス判〜キャビネ判ぐらい）、スライド（35ミリ以上）、またはデータ（JPEG最高画質）。1人5点まで。
●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、データはメールの添付書類で本文に、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り同封。締切：毎月15日。

■「ライオンズ・ギャラリー」61ページ
●会員及びその家族。プロ、アマ不問。
●応募作品：絵画、版画、工芸／題材は自由。作品のスライド・フィルムか、カラー・プリント（キャビネ判）。氏名、クラブ名、年齢、職種、作品のサイズ、題名を明記し、作品に関するエッセー、自評など（400字程度）、顔写真を添付。

■「リーダース・プラザ」62〜63ページ
●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部送付。
●伝言板：読者間の情報交換に。
●読者から：本誌への意見、感想など。

送り先：〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所　各コラムあて
ファクス：03-3546-2630
Eメール：edit@thelion.jp

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。 編集部

夢、目標の大切さ

●コーチングの話は、自分の子どもに対する接し方に通じることも多く、勉強になりました(6月号「ピックアップ/コーチングの視点から組織活性化へのヒントを考える(12ページ)」)。私の息子たちもスポーツに取り組んでいるので、そういう意味でも参考になりました。また、親としての責任の持ち方も考えさせられ、夢、目標の大切さが分かりました。

北海道・十勝池田●鈴木元

●堀井学流コーチングを興味深く読ませて頂きました。「達成感と喜びは、組織を活性化させる」に感動。明確で具体的な目標を持つことは、ライオンズにも共通すると感じました。私も、ボランティア・アクティビティに全力で取り組み成功するよう頑張りたいと思います。

島根県・浜田マリン●永岡栄子

奉仕の仕方

●1945年夏、ニューブリテン島のタキレン草原。米軍機の機銃掃射で、狙い撃ちを受けた井上伍長。愛馬「兼冬」は頭部に弾を受け即死しながらも、大きな体で井上伍長を米軍の弾から守ってくれた……(6月号「こころのチキンスープ/愛馬のゴムの木(26ページ)」)。戦争を知らない私ですが、これを読んでいて、当時の悲しみ、苦しみが伝わってきました。今、60年前に葬った所に植えたゴムの木が平和への願いへと役立っているのですね。とても良いお話でした。ライオン井上誠次が、お元気で長生きされることを願っています。

熊本銀杏●外口栄一

伝統工芸品――会津木綿

●6月号「ふるさと探訪/福島県・会津若松:手に伝う木と漆のぬくもりは、職人たちの手が成す華麗な奇跡(43ページ)」を楽しく読ませて頂きました。会津はちょうど10年前の秋に訪れたことがあり、会津若松城、磐梯山、五色沼、猪苗代湖周辺の紅葉など、とても素晴らしく、今でも懐かしい思い出の一つです。機会があれば、伝統工芸品も時間をかけて拝見したいと思っています。私は浜松の織物業界で織元として45年、糸染めシャツ地、ファッション婦人衣料、インテリアまで幅広い繊維に携わってきました。そんなこともあって、会津若松ライオンズクラブからの「読者プレゼント(65ページ)」に載っていた山田木綿織元さん(ライオン山田悦史)の一環した物造りで生産される會津木綿、美しい藍染の小物入れに大変興味を持ちました。

静岡県・浜松東●小栗寛

ライオンズ、行動あるのみ!

●「獅子吼」をいつも楽しみにしています。6月号は特に、山口勝子さん(福岡博多ライオンズクラブ)の「ライオンズの初心忘るべからず(54ページ)」に共感を覚えました。印象に残ったのは「50年前と現在の変化」について述べている部分です。現代社会においては、金銭を援助するだけの奉仕団体の存在は社会に認められないと感じます。我々ライオンズクラブは、行動することで、存在意義を示す必要があると考えます。

福岡県・甘木●谷口好幸

楽しい集団活動を

●6月号「編集室/『話・和・輪』(66ページ)」を拝読して、大変共感しました。年齢を重ねると、人とかかわることが煩わしくなってくる半面、どこかに人を求め、人と交わっていたいという思いもあると思います。縁あってライオンズクラブの会員となったのですから、これからも、全会員が、楽しい集団活動をしていってほしいと願っています。

福岡県・かすや南・家族●安河内初代

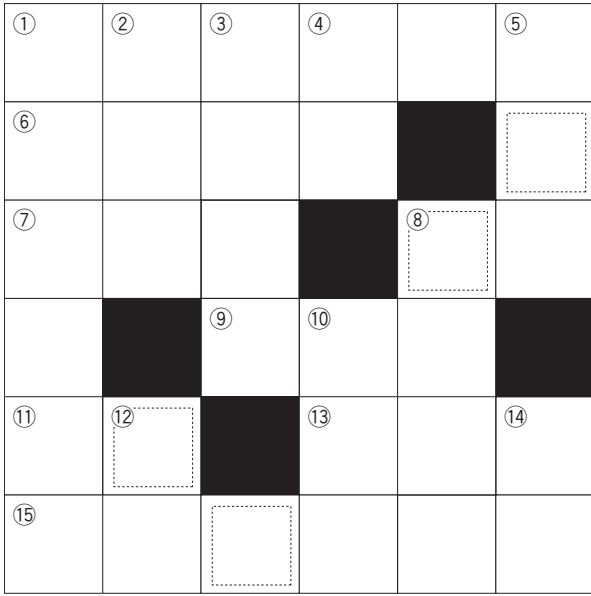
ライオンズの教科書

●ライオンズクラブに入会以来、『ライオン』誌を、通信教育の教科書のように読んでいます。5月号付録の「LCIF特集」では、基金がどのように活用されているかが詳しく掲載されておりました。私自身、毎年、LCIF献金をしているので、とても誇りに思い、これからも出来る限り続けて参りたいと感じました。すべてのメンバーが、目標を一つにして心を合わせるためにも、『ライオン』誌を読んでほしいものです。

大阪府・堺フェニックス●澤田真寿恵

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べ換えてください。正解者の中から10人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は62ページ）。締切は2006年8月20日。

①	②	③	④		⑤
⑥				■	[ ]
⑦			■	⑧[ ]	
	■	⑨	⑩		■
⑪	⑫[ ]	■	⑬		⑭
⑮		[ ]			

解答 □□□□　ヒント：ライオンズのそれはウィ・サーブ

↓タテのカギ

① 海で泳いだり、遊んだり。
② 心からおそれ敬うこと。
③ 川端文学の映画化で美空ひばりや吉永小百合、山口百恵が演じた役は？
④ キュウリやスイカなどの総称。
⑤ 苦労している人などを見舞うこと。
⑧ 犬同士を戦わせて勝負を争う遊び。
⑩ 醤油や白味噌、丸餅や角餅、あんこ餅と、味も見た目も地方によってさまざま。
⑫ 海、川、湖、氷上でも楽しめるレジャー。
⑭ 旧ソ連・ロシアの戦闘機の制式名。

←ヨコのカギ

① 太陽系の第8惑星。
⑥ 動物などを殺さずにつかまえること。
⑦ ホームズもポアロも、名探偵はこれで難事件を解決。
⑧ 1000キログラム。
⑨ 年少の男子をののしっていう言葉。
⑪ 相撲で双方が両手を差して組み合うこと。
⑬ 消極的な態度。
⑮ 英語で「きれいにすること」の意。洗濯。

■前回の答え

①ト	②ウ	③[カ]	④イ	⑤ド	⑥ウ
⑦ウ	イ	ン	ド	ウ	ズ
⑧モ	ル	ト	■	⑨ソ	[シ]
⑩ロ	ス	■	⑪コ	ウ	オ
コ	■	⑫[ゴ]	ウ	カ	■
⑬シ	ュ	ウ	ギ	イ	ン

答えは「シカゴ」

ウェブ・マガジン - 8月号
www.thelion-mag.jp

8月1日公開予定

■Interview

2004年のデトロイト／ウィンザー国際大会で国際理事に就任され、この7月に開催されたボストン国際大会で任期満了となったライオン石橋幹雄（北海道・小樽グリーン）に、国際理事としての2年間の活動を伺う。

■クラブの活動

本誌では掲載しきれなかった、クラブ・アクティビティの取材記事や、サバンナやEメール、郵送などで投稿頂いたクラブの活動・写真などを幅広く紹介する。

■地区キャビネットだより

各地区キャビネットの紹介記事。今月は330-B地区（神奈川県／山梨県）と334-A地区（愛知県）が登場。

■世界のライオンズ

世界各国で活躍するライオンズを紹介。今月はドイツ中西部、ライン川河畔に位置し、旧西ドイツの首都でもあった古都・ボンのライオンズ。サッカーのワールド·カップでは日本代表チームのキャンプ地にもなったこの街での活動は。

■ボランティア·ネットワーク

東京都赤十字血液センターを訪問する。1960年代からライオンズの主要アクティビティとして全国で実施されてきた献血奉仕。知ってるようで知らない献血のいろはから、献血促進のキャンペーン企画など。

読者プレゼント

■ボストン土産を5人の読者に

ボストン国際大会の取材を担当した本誌スタッフが現地で調達した大会関連グッズを、セットで5人の読者にプレゼントします。

月ごとにLCIF事業を写真とキャプションで紹介している、2007年LCIFカレンダー。視力ファースト・キャンペーンⅡのロゴをかたどった記念バッジ。ライオンズ・ミント・キャンディー。そして、これをかぶってクラブ例会を進行すれば盛り上がること請け合いの、ジミー・ロス国際会長のお面、の計4点です。

プレゼント応募要項

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、クラブ名と「ボストン」「絵画展」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は7月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

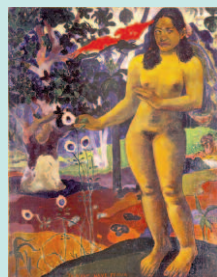
〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌事務所

ウェブサイトからの応募
www.thelion-mag.jp/modules/form1

■「モダン・パラダイス展」チケットを10人の読者に

8月15日から10月15日まで東京・竹橋の東京国立近代美術館で開催される「モダン・パラダイス展」のチケット（2枚1組）が10人の読者にプレゼントされます。

近代美術のコレクションにおいて日本を代表する二つの美術館、大原美術館（岡山県倉敷市）と東京国立近代美術館の所蔵品から選りすぐりの名品100点が展示されます。

クロード・モネ×菱田春草、アンリ・マティス×岸田劉生など東西美術の対比他、同テーマの対比、時代性の対比などさまざまな視点から名品同士を比較・展示します。

ポール・ゴーギャン
『かぐわしき大地』
1982年
大原美術館蔵

次号予告

THEME
アクティビティ1

今年1月に、福岡中央ライオンズクラブは交通遺児育英基金チャリティー「ココモニー・コンサート」を開催した。メンバーとあるストリート・ミュージシャンの青年との出会いをきっかけに、裏方も出演者も、すべて若者たちの手で作り上げたコンサートは、さまざまな困難を乗り越え成功を収めた。その軌跡をルポ。

ROAR・ローア
——まるごと334複合地区

9月号は334複合地区特集。「トピックス」は愛知県名古屋堀川、三重県亀山、岐阜井奈波、静岡県富士宮、石川県小松青雲、長野県軽井沢の各クラブ。「ふるさと探訪」は静岡県・熱海を訪ねる。温暖な気候と山と海の美しい自然とおいしい味覚といった豊かな資源に恵まれた熱海は、千年の歴史を誇る温泉地でもある。国内外から訪れる観光客の、旅の思い出に花を添えるのが芸者さんたち。お座敷での華やかな唄や踊りと、その陰にある日々のお稽古などの話を聞く。毎週土曜日に開催される「湯めまちをどり　花の舞」も取材。「表紙シリーズ・日本の風景」は福井県・東尋坊。

新国際役員紹介

国際会長を始めとする2006・07年度国際役員の氏名及び所属委員会等を紹介する。

編集室

擬傷

ライオン誌
日本語版委員長
◉
荒川隆志

特に用事がない休日には、好きな川釣りに出掛けている。春、緑が濃くなった早朝の山野で聞く小鳥の鳴き声は奇麗である。こんな時期に初の「擬傷」と偶然出会った。

小鳥が羽をぱたぱたさせ地面を這い回っていた。しゃがみこんで少しずつ歩を進めたが、うまく移動しているらしく一向に距離が縮まらない。変だと思うのと同時に、擬傷だと気がついた。急いで元の場所に戻り、地上に巣がないか、あるいは幼鳥がいないかと周辺の草むらを探したが徒労に終わった。この間に、飛べないふりをして注意を引き付け、見事に私を騙した親鳥の姿は消えていた。

2度目に擬傷を見たのはカルガモの親子であった。親鳥が何やら鳴くと、子ガモたちは一斉に川岸の藪の中へ逃げ込み、親鳥のみが谷川に残って羽で水面を大げさに叩き注意を自分に引き付けながら前進した。騙されたつもりで30㍍ほど後を追ってみた。すると親鳥は急に飛び立ち、頭上を越え後方へ向かった。間もなく「クウッ、クウッ」と、避難した子ガモたちを呼び寄せている鳴き声がした。

3度目は笹藪から突然、小鳥が飛び出し地面に輪を描きながら這い回り始めた。が、今日は騙されないことにして黙殺し、小鳥が出て来た藪の中を良く見ると巣があった。かわいそうだが中を覗くと、数羽のひなが危険を感じているのか動かずにいた。目で確かめて納得したので元の場所へ戻ると、小鳥の姿はなかった。数日後、意地が悪いようだが試しにもう一度、巣がある笹薮へ近づいてみた。今度は、小鳥は飛び出してこなかった。変に思いながら覗き込むと、小鳥は巣の中で首を高く伸ばして警戒しているようであった。

研究者は「敵から逃げたい衝動と、巣のそばにいたい衝動が張り合って起こる動作」が擬傷だという。何とも不可解だが、自然はいろいろなことがあってこそ豊かだと思う。人間は自然とのかかわりで、その恩恵に浴すると共に、豊かな心を自然から学びたいものだ。

Official publication of Lions Clubs International.

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842
USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

視力ファースト・キャンペーンⅡ

視力ファーストによって、
既に多くの人々が救われています。
彼らの喜びと感謝の思いをご紹介します。

ぼくのおばあさんは、わかいときに河川失明症で目が見えなくなりました。だから、いつもお母さんがおばあさんのお世話をしています。
おばあさんの小さいころは、このこわい病気にかかる人がたくさんいたそうです。でも、ライオンズの人たちがメクチザンという薬を持ってきてくれたので、いまではもう目が見えなくなる人はいません。
ほんとうによかったです。ライオンズのみなさん、どうもありがとう。

（メキシコ・バリオブラジル）

わたしのおじいさんは、このまえ、ライオンズの病院で白内障という病気をなおしてもらいました。
病院へ行くライオンズのバスに乗るために、とても遠くまで歩いたけれど、ほんとうによかったと思います。
おじいさんは病院で手術をしてもらって、目が見えるようになりました。
目が見えるようになってから、おじいさんはいつも、「ライオンズの行いに神さまのご加護がありますように」と言っています。わたしも、いつもそうお祈りしています。
ライオンズのみなさん、ほんとうにどうもありがとう。これからもがんばってください。

（インド・パラコール）